島根県生産遺跡分布調査報告書Ⅱ

石見部製鉄遺跡

1984・3

県教育委員会

序　　文

本書は、島根県教育委員会が国の補助を受けて、昭和５８年度に実施した石見地方の製鉄遺跡分布調査の報告です。

山陰地方は、古来中国山地の砂鉄を原料とした「鈩吹き」による製鉄が盛んで、優秀な玉鋼を生産していましたが、明治になると安い洋鉄などに押されて衰微し、廃絶してしまいました。このように当地方は鈩製鉄では由緒ある土地柄ですが、その実態についてはほとんど明らかにされていないうえ、土地開発に際して遺跡が破壊されることも少なくありません。

そこで私どもは、こうした製鉄遺跡の保護については、まずその所在地を明らかにすることが必要だと考え、昭和５７年度に出雲地方の製鉄遺跡分布図を作成しました。これに引き続き、昭和５８年度は石見地方の製鉄遺跡分布調査に着手しましたが、７月２３日に石見地方は未曽有の大水害にみまわれ、床上浸水などの被害に会った委嘱調査員もあり、一時は調査を断念しようかとも考えました。しかし、大水害の悪条件下にもかかわらず委嘱調査員の熱意により積極的に調査が進められ、実に６７０遺跡を確認するという多大な成果を得ることができました。これはひとえに調査員をはじめとする関係各位の努力の賜物であります。

なにぶんにも短期間の調査であり、また、水害のために道路が寸断されて調査不可能な地域があるなど、さまざまな制約から未登載の遺跡も多かろうと思いますが、これがもとになりさらに補充、整備されて、遺跡保護の基礎資料になればと願っております。

なお、この分布図作成にあたって、調査にご協力いただきました委嘱調査員、市町村教育委員会並びに関係各位に深甚の謝意を表する次第です。

昭和５９年３月

島根県教育委員会教育長　栗　栖　理　知

目　　次

例　　言 …… iii

市町村別製鉄遺跡数一覧表 …… iv

石見部製鉄遺跡分布図

（地図番号・地図名称）		（市町村名）
1	石見大田	A大田市
2	大　浦	A大田市、B邇摩郡仁摩町
3	三瓶山	A大田市、D邑智郡邑智町、E邑智郡大和村
4	温泉津	A大田市、B邇摩郡仁摩町、C邇摩郡温泉津町、D邑智郡邑智町、G邑智郡川本町、I邑智郡桜江町、K江津市
5	江　津	K江津市
6	赤　名	D邑智郡邑智町、E邑智郡大和村、F邑智郡羽須美村、G邑智郡川本町、H邑智郡瑞穂町
7	川　本	G邑智郡川本町、H邑智郡瑞穂町、I邑智郡桜江町、J邑智郡石見町、K江津市、M那賀郡旭町
8	浜　田	K江津市、L浜田市、M那賀郡旭町、N那賀郡金城町
9	八　重	F邑智郡羽須美村、H邑智郡瑞穂町
10	大　朝	H邑智郡瑞穂町、M那賀郡旭町
11	木都賀	L浜田市、N那賀郡金城町、O那賀郡弥栄村、P那賀郡三隅町、R美濃郡美都町、S美濃郡匹見町
12	益　田	L浜田市、P那賀郡三隅町、Q益田市、R美濃郡美都町
13	飯　浦	Q益田市
14	三段峡	R美濃郡美都町、S美濃郡匹見町
15	日　原	Q益田市、R美濃郡美都町、S美濃郡匹見町、T鹿足郡日原町、W鹿足郡津和野町
16	須　佐	Q益田市、T鹿足郡日原町
17	津　田	S美濃郡匹見町、U鹿足郡六日市町
18	津和野	S美濃郡匹見町、T鹿足郡日原町、U鹿足郡六日市町、V鹿足郡柿木村、W鹿足郡津和野町
19	徳佐中	W鹿足郡津和町
20	鹿　野	U鹿足郡六日市町、V鹿足郡柿木村

石見部製鉄遺跡所在地一覧表 …… 1

邑智郡内鈩関係文書 …… 20

福原たたら跡調査報告 …… 26

例　　言

1. 本書は昭和58年度国庫補助を得て島根県教育委員会が実施した生産遺跡分布調査（石見部製鉄遺跡）の報告書（遺跡分布図）である。また、この分布調査に合せて実施した邑智郡石見町の福原たたら跡の調査報告も収録した。
2. 製鉄遺跡台帳の原本は島根県教育委員会、その写しは関係市町村教育委員会で保管している。
3. 調査は以下のような組織で島根県教育委員会が実施した。

委嘱調査員

〔全域に亘る調査・指導〕

住田　勇（前日立金属和鋼記念館館長）

杉原清一（島根県文化財保護指導員）

田中義昭（島根大学教授）

渡辺貞幸（島根大学助教授）

〔大田市・江津市・邇摩郡担当調査員〕

桑原真治（島根県生産遺跡分布調査員）

工通忠孝（島根県文化財保護指導員）

〔邑智郡担当調査員〕

尼川尚明（瑞穂町文化財保護審議会委員）

吉川　正（島根県文化財保護指導員）

岡田　博（石見町文化財保護審議会委員）

〔浜田市・那賀郡担当調査員〕

山根正明（島根県文化財保護指導員）

三浦康己（会社役員）

隅田正三（金城町文化財保護審議委員）

〔益田市・美濃郡・鹿足郡担当調査員〕

岩谷建三（島根県文化財保護指導員）

大庭良美（日原町文化財専門委員）

渡辺友千代（匹見町文化財保護審議会委員）

木原　光（島根県生産遺跡分布調査員）

調査員

勝部　昭（島根県教育庁文化課文化財保護主事）

松本岩雄（島根県教育庁文化課主事）

西尾克己（島根県教育庁文化課主事）

調査協力

羽田幸信、山田春富、吉松吉十、城市ウメノ、中谷勝美、藤井和夫、大久保一見、水津福好、堀粂太郎、田中勲、村上保、三宅和人、師井静、藤本一十、師井志延、斉藤明久、酒井武男、大国晴雄、柳浦俊一、花田宗重、寺尾清、寺戸清六、斉藤吾一、吉田花子、西田保、秀浦昇

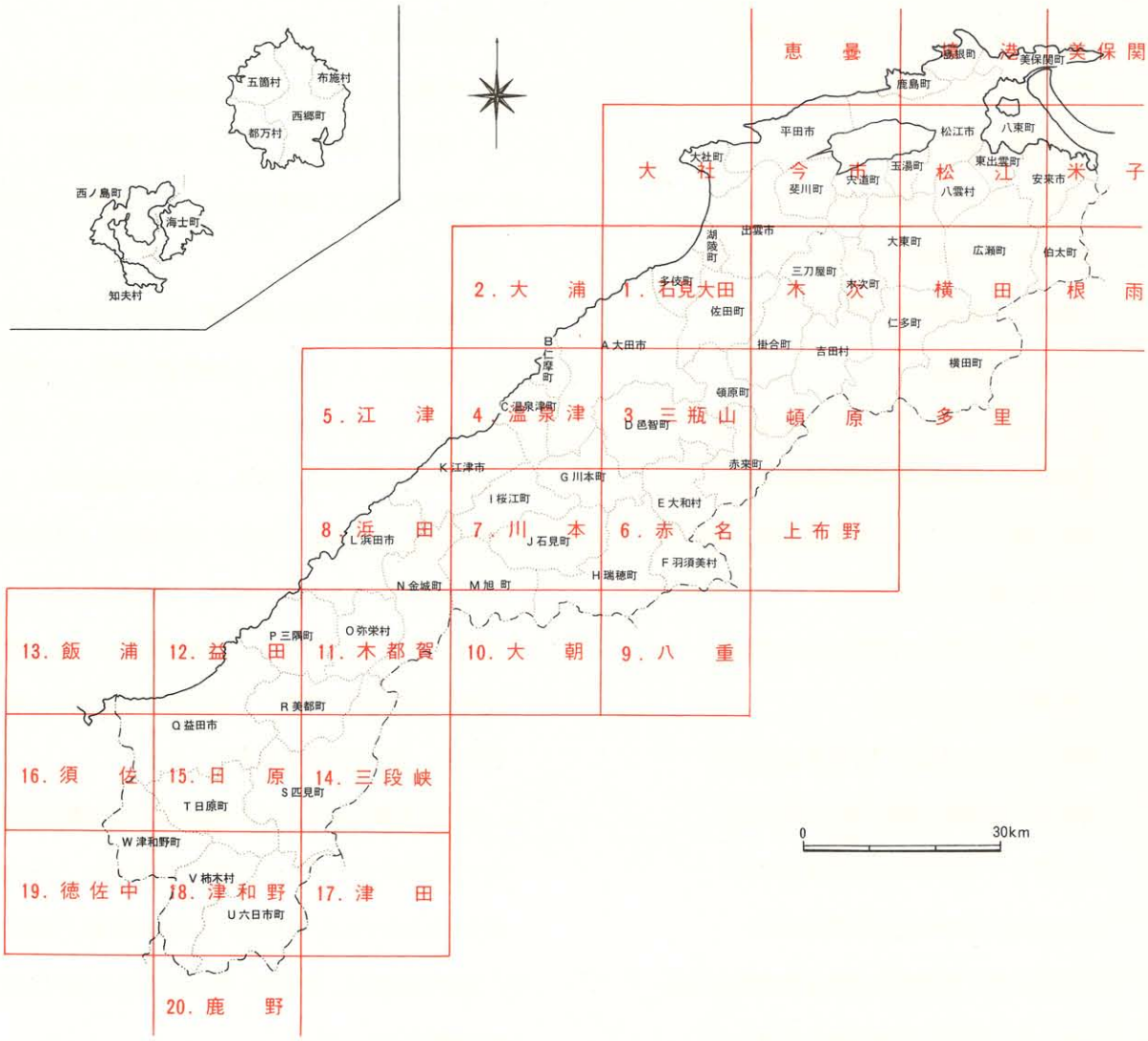
整理作業員

門脇淳子、三宅小文、田根裕美子、景山恵子、中村慶子、渡部裕子、玉木一江、青木紀子

4. 本書に登載した製鉄遺跡は、主に鈩跡と大鍛冶跡で670ケ所ある。
5. 遺跡番号は、市町村毎に通し番号を付した。各市町村の記号は、A大田市、B邇摩郡仁摩町、C邇摩郡温泉津町、D邑智郡邑智町、E邑智郡大和村、F邑智郡羽須美村、G邑智郡川本町、H邑智郡瑞穂町、I邑智郡桜江町、J邑智郡石見町、K江津市、L浜田市、M那賀郡旭町、N那賀郡金城町、O那賀郡弥栄村、P那賀郡三隅町、Q益田市、R美濃郡美都町、S美濃郡匹見町、T鹿足郡日原町、U鹿足郡六日市町、V鹿足郡柿木村、W鹿足郡津和野町とした。
6. 本書に掲載した地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製し、7万分の1に縮少したものである。（承認番号）昭和59中複、第95号。
7. 本書の編集は、勝部昭、田根裕美子の協力を得て松本岩雄が行なった。

市町村別製鉄遺跡数一覧表

市町村名	遺跡数	市町村名	遺跡数	市町村名	遺跡数
A 大田市	19	I 邑智郡桜江町	27	Q 益田市	12
B 邇摩郡仁摩町	1	J 邑智郡石見町	60	R 美濃郡美都町	25
C 邇摩郡温泉津町	4	K 江津市	13	S 美濃郡匹見町	73
D 邑智郡邑智町	27	L 浜田市	42	T 鹿足郡日原町	13
E 邑智郡大和村	31	M 那賀郡旭町	35	U 鹿足郡六日市町	9
F 邑智郡羽須美村	11	N 那賀郡金城町	49	V 鹿足郡柿木村	9
G 邑智郡川本町	6	O 那賀郡弥栄村	11	W 鹿足郡津和野町	0
H 邑智郡瑞穂町	182	P 那賀郡三隅町	11	合計	670

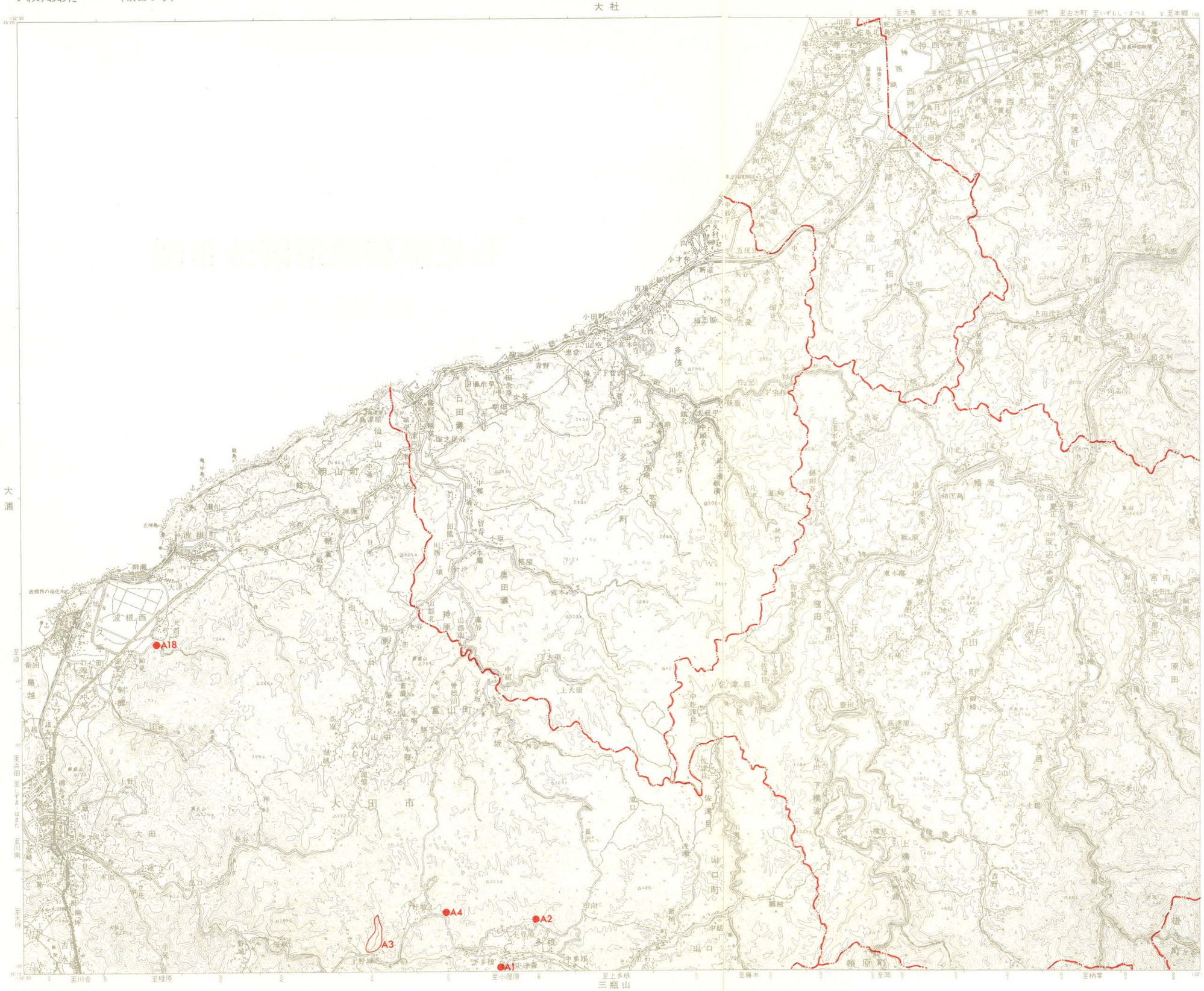


石見部製鉄遺跡分布図

1:50,000 地形図　NI-53-32-5
いわみおおだ　（浜田5号）

石見大田

大社



1. 石見大田

A. 大田市

行政区画

島根県
1. 出雲市　2. 簸川郡
3. 大田市　4. 飯石郡

索引図

	大社（大社）	今市
大浦	（浜田）	木次
温泉津	三瓶山	頓原

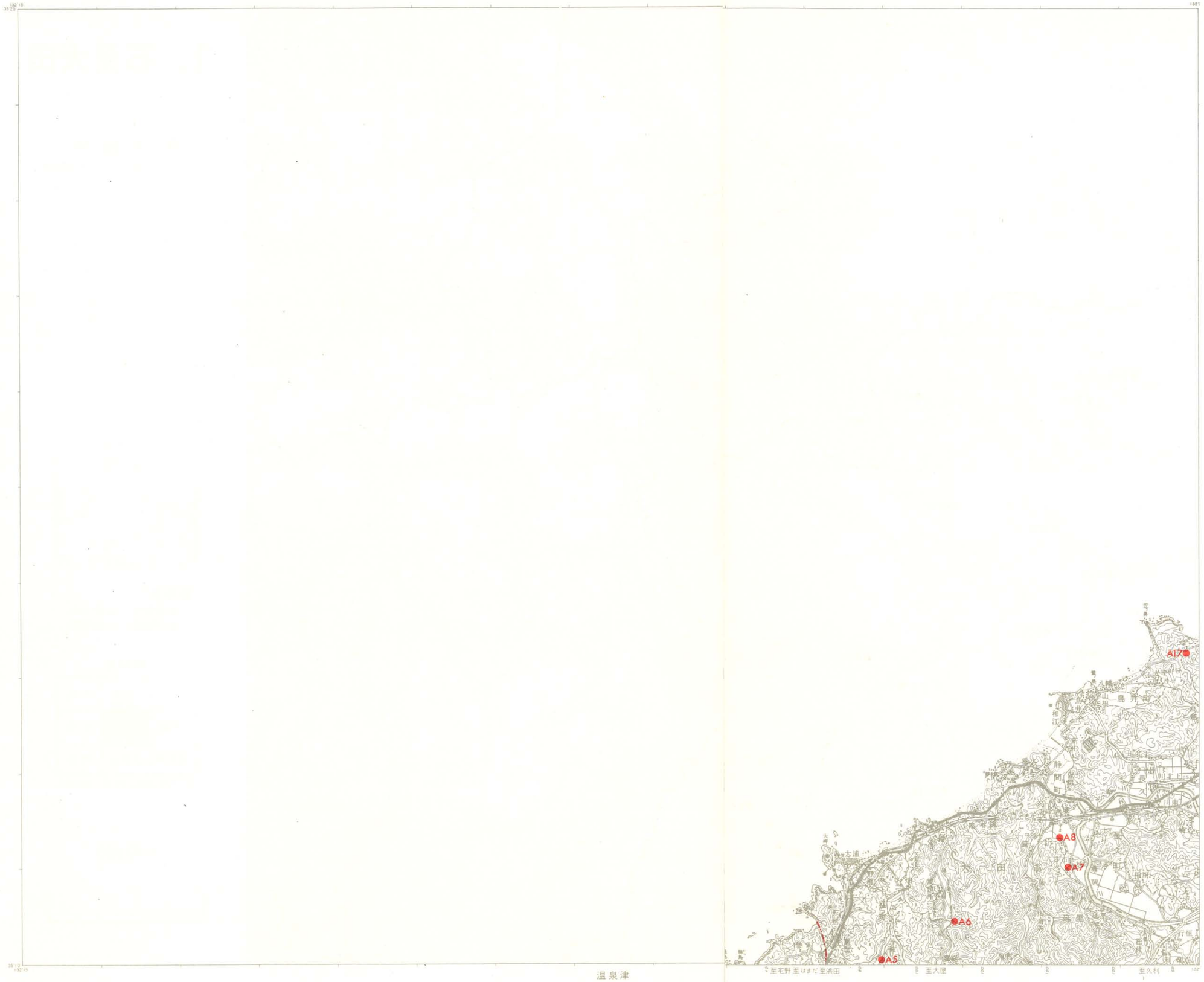
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　N1-53-32-9
おおうら　（浜田9号）

大　浦



2. 大　浦

A. 大田市
B. 邇摩郡仁摩町

行政区画

島根県
1. 大田市　2. 邇摩郡

索引図

	（大社）	大社
		石見大田
江津	温泉津	三瓶山

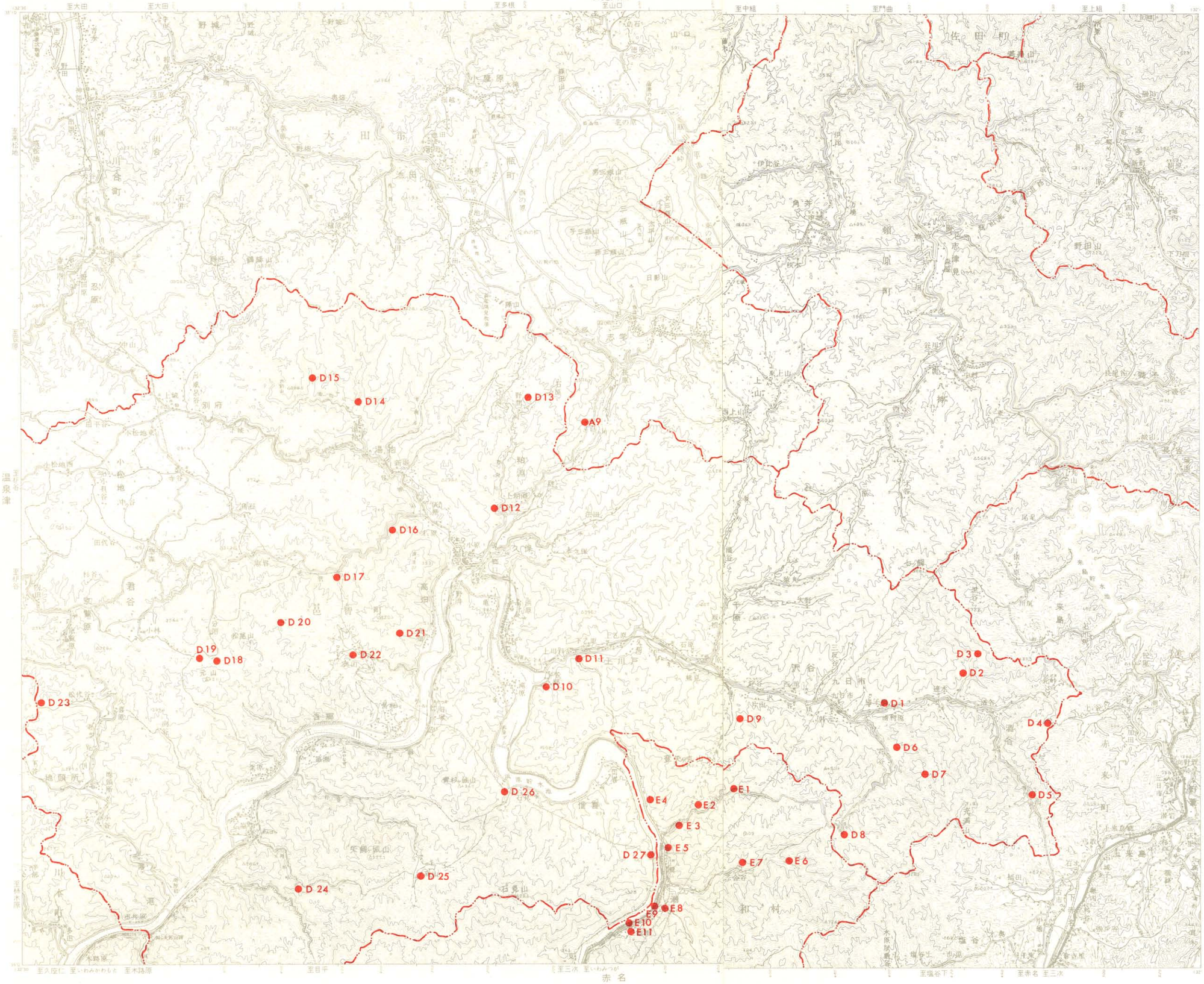
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-6
さんべさん　（浜田6号）

三　瓶　山



3. 三瓶山

A. 大田市
D. 邑智郡邑智町
E. 邑智郡大和村

行政区画

島根県
1. 大田市　2. 簸川郡
3. 飯石郡　4. 邑智郡

索引図

大浦	石見大田	木次
温泉津	(浜田)	頓原
川本	赤名	上布野

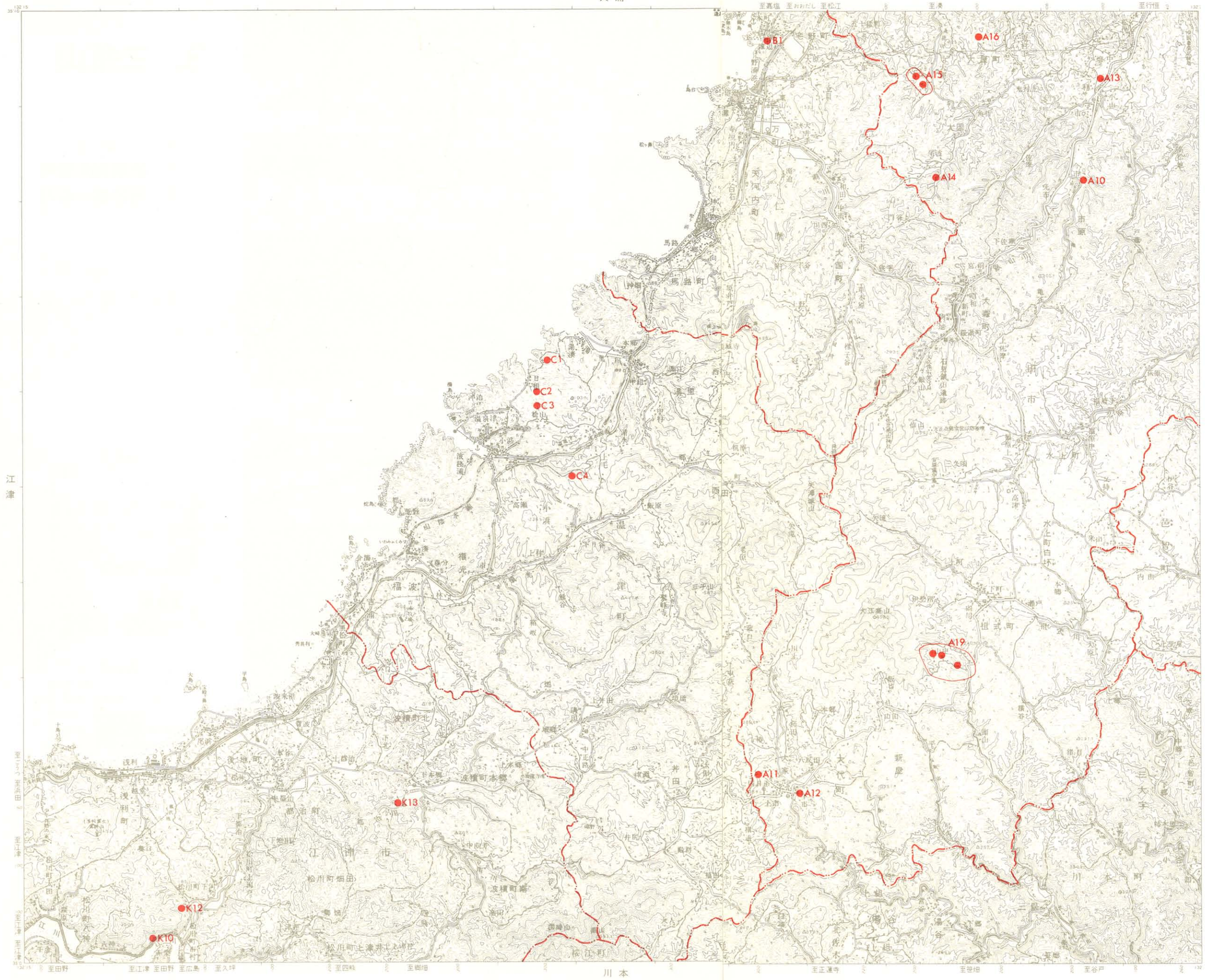
(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-10
ゆのつ　（浜田10号）

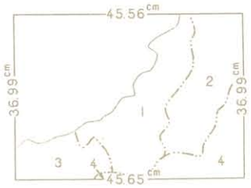
温泉津



4. 温泉津

A. 大田市
B. 邇摩郡仁摩町
C. 邇摩郡温泉津町
D. 邑智郡邑智町
G. 邑智郡川本町
I. 邑智郡桜江町
K. 江津市

行政区画



島根県
1. 邇摩郡　2. 大田市
3. 江津市　4. 邑智郡

索引図

	大浦	石見大田
江津	(浜田)	三瓶山
浜田	川本	赤名

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　N1-53-32-14
ごうつ　（浜田 14 号）

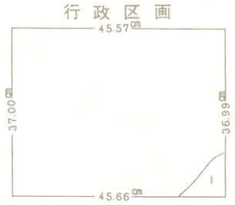
江　津

5. 江　津

K. 江 津 市

浜 田

行 政 区 画



島根県
1. 江津市

索引図

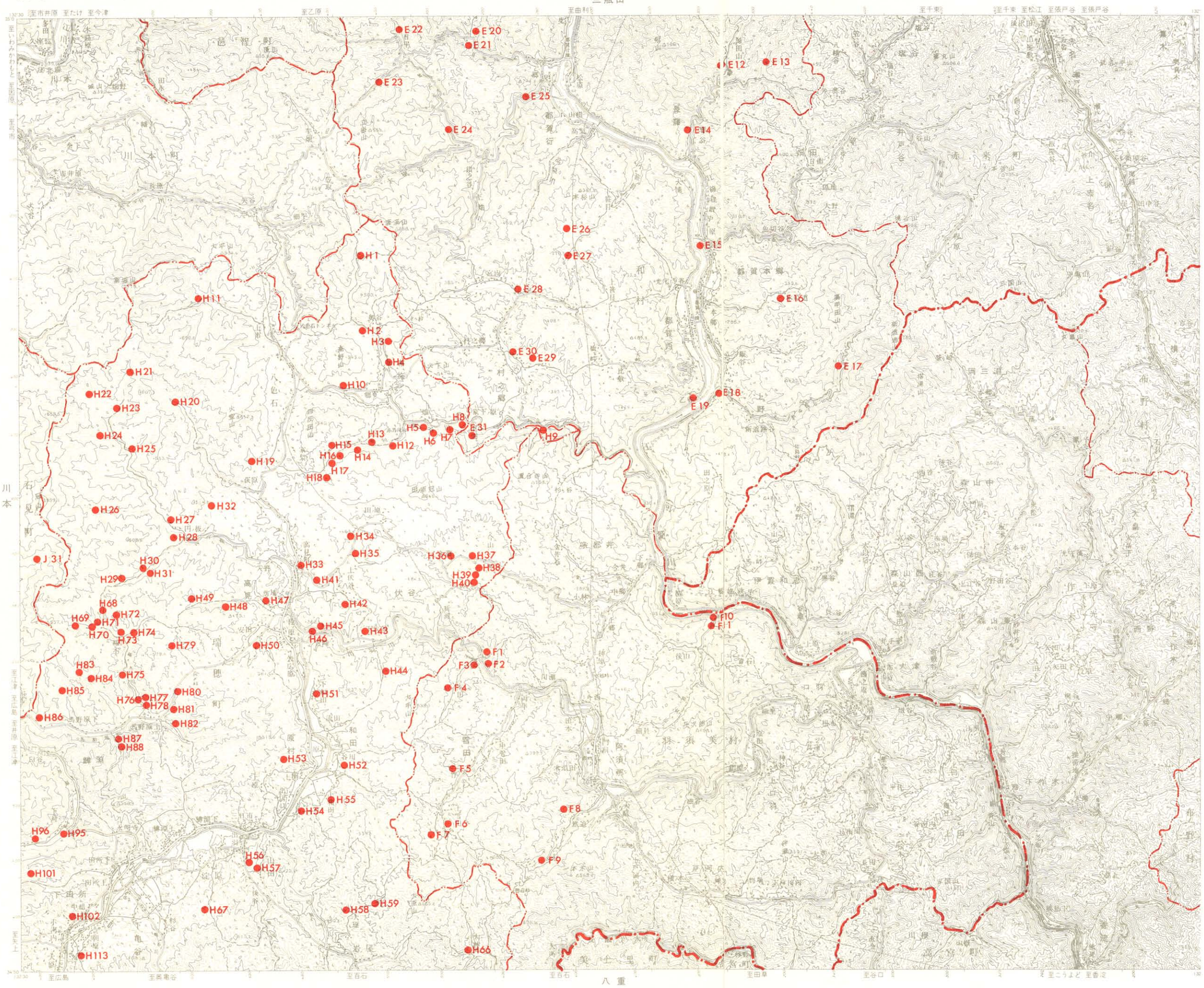
		大 浦
		温泉津
	浜 田	川 本

1: 70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-7
あかな　（浜田7号）

赤　名



6. 赤　名

D. 邑智郡邑智町
E. 邑智郡大和村
F. 邑智郡羽須美村
G. 邑智郡川本町
H. 邑智郡瑞穂町

行政区画

島根県
1. 邑智郡　2. 飯石郡
広島県
3. 双三郡　4. 高田郡

索引図

温泉津	三瓶山	頓原
川本	(浜田)	上布野
大朝	八重	三次

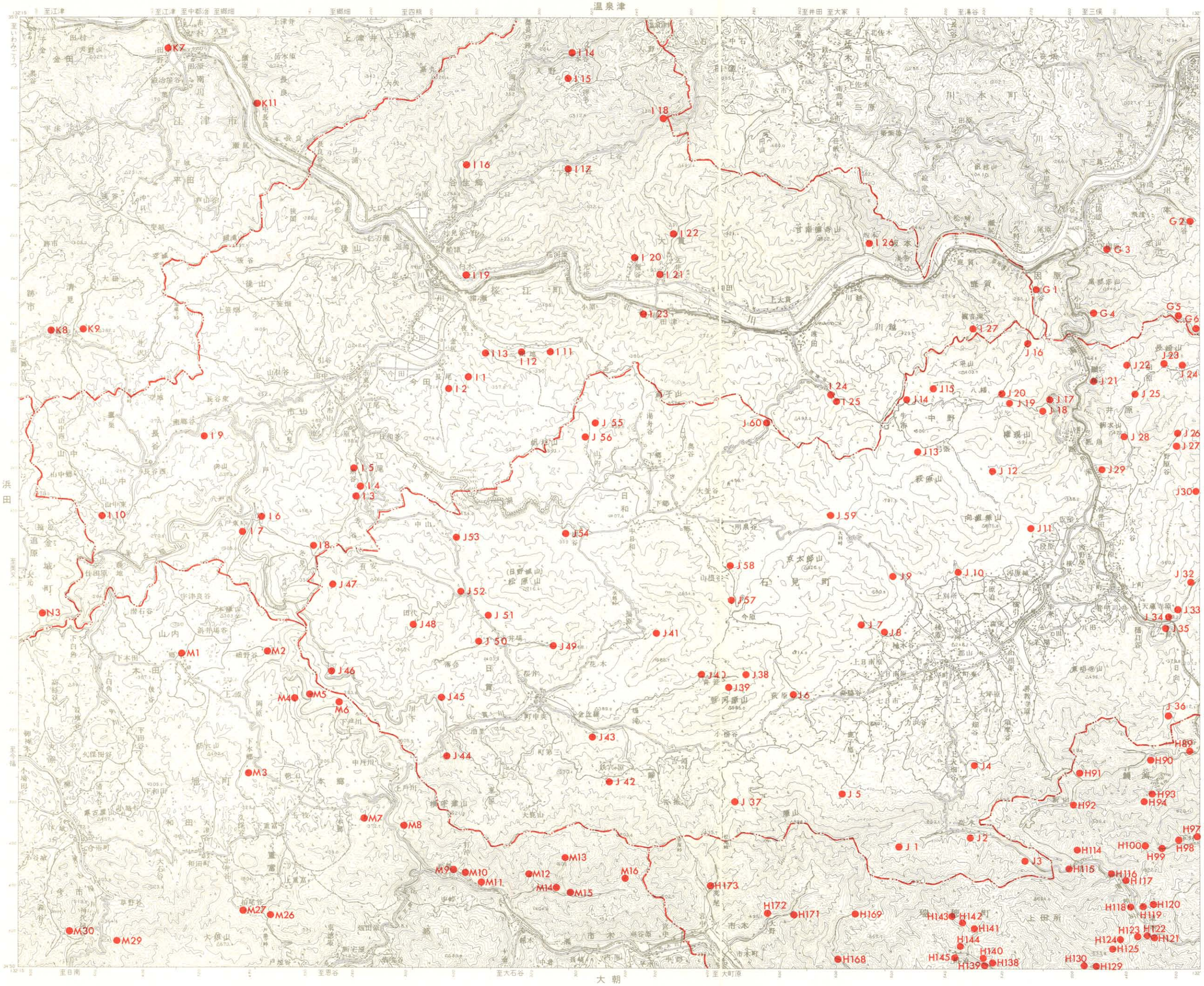
(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-11
かわもと　（浜田11号）

川　本



7. 川　本

G. 邑智郡川本町
H. 邑智郡瑞穂町
I. 邑智郡桜江町
J. 邑智郡石見町
K. 江 津 市
M. 那賀郡旭町

行政区画

島根県
1. 江津市　2. 邑智郡
3. 邇摩郡　4. 那賀郡

索引図

江 津	温泉津	三瓶山
浜 田	(浜田)	赤 名
木都賀	大 朝	八 重

(　)内は所属20万分1図の図名

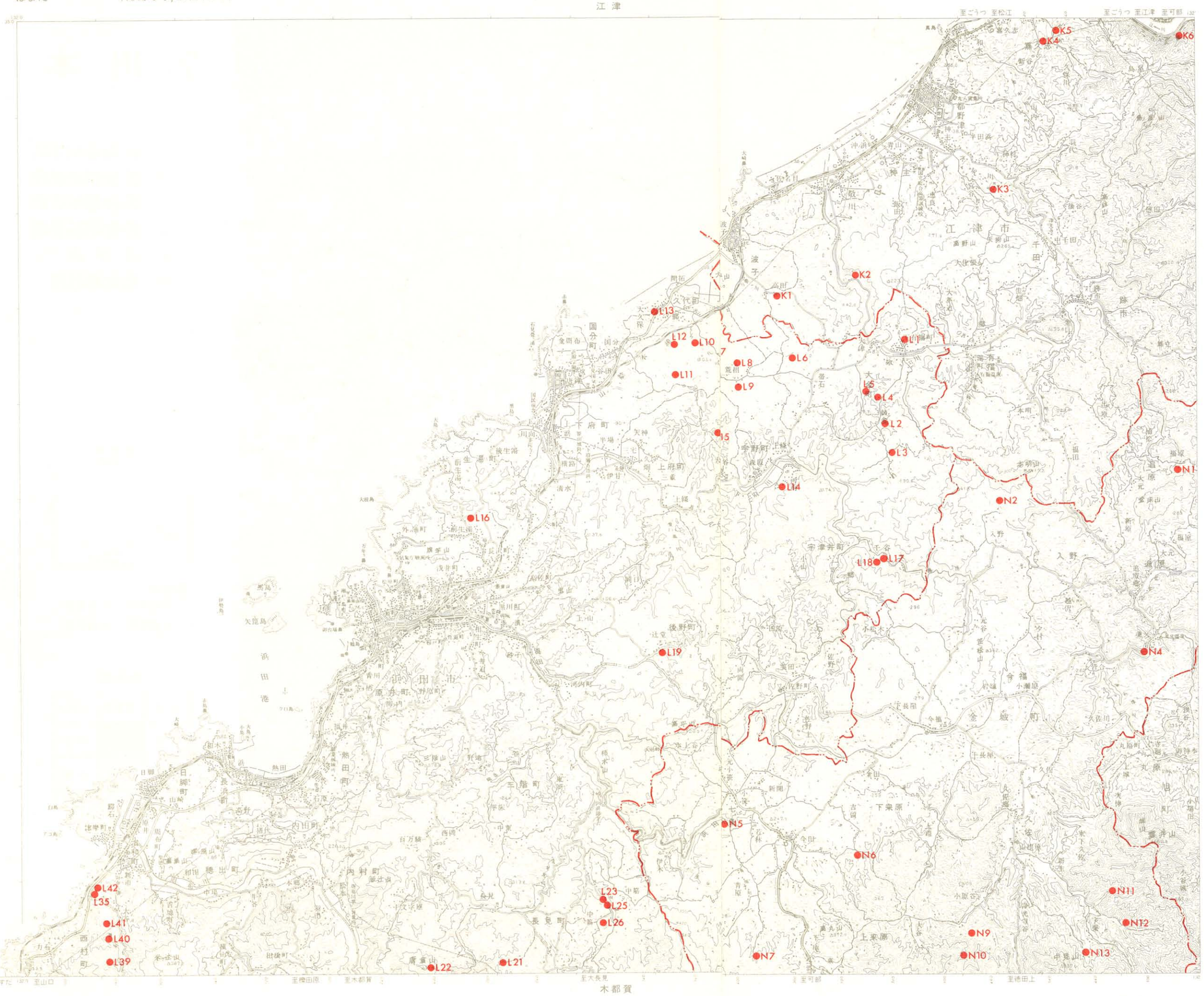
1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図 はまだ　NI-52-2-3, 53-32-15（見島3号, 浜田15号）

浜　田

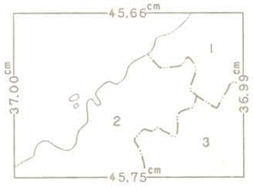
江津



8. 浜　田

K. 江 津 市
L. 浜 田 市
M. 那賀郡旭町
N. 那賀郡金城町

行政区画



島根県
1. 江津市　2. 浜田市
3. 那賀郡

索引図

	江 津	温泉津
（見 島）	（浜 田）	川 本
益 田	木都賀	大 朝

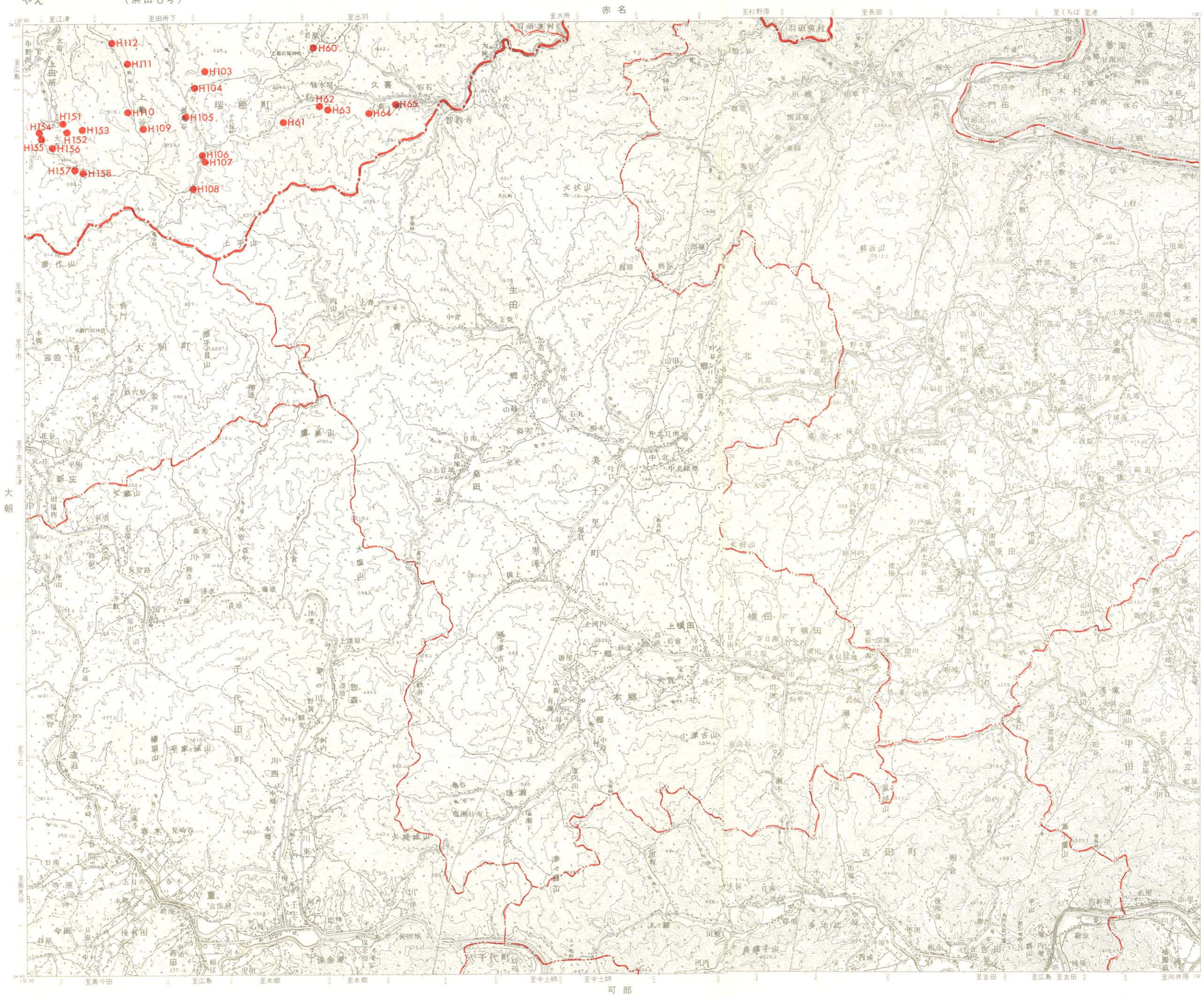
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-8
やえ　（浜田8号）

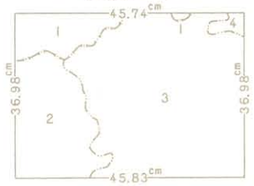
八　重



9. 八　重

F. 邑智郡羽須美村
H. 邑智郡瑞穂町

行政区画



島根県
1. 邑智郡
広島県
2. 山県郡　3. 高田郡
4. 双三郡

索引図

川本	赤名 (浜田)	上布野
大朝		三次
加計	可部 (広島)	乃美

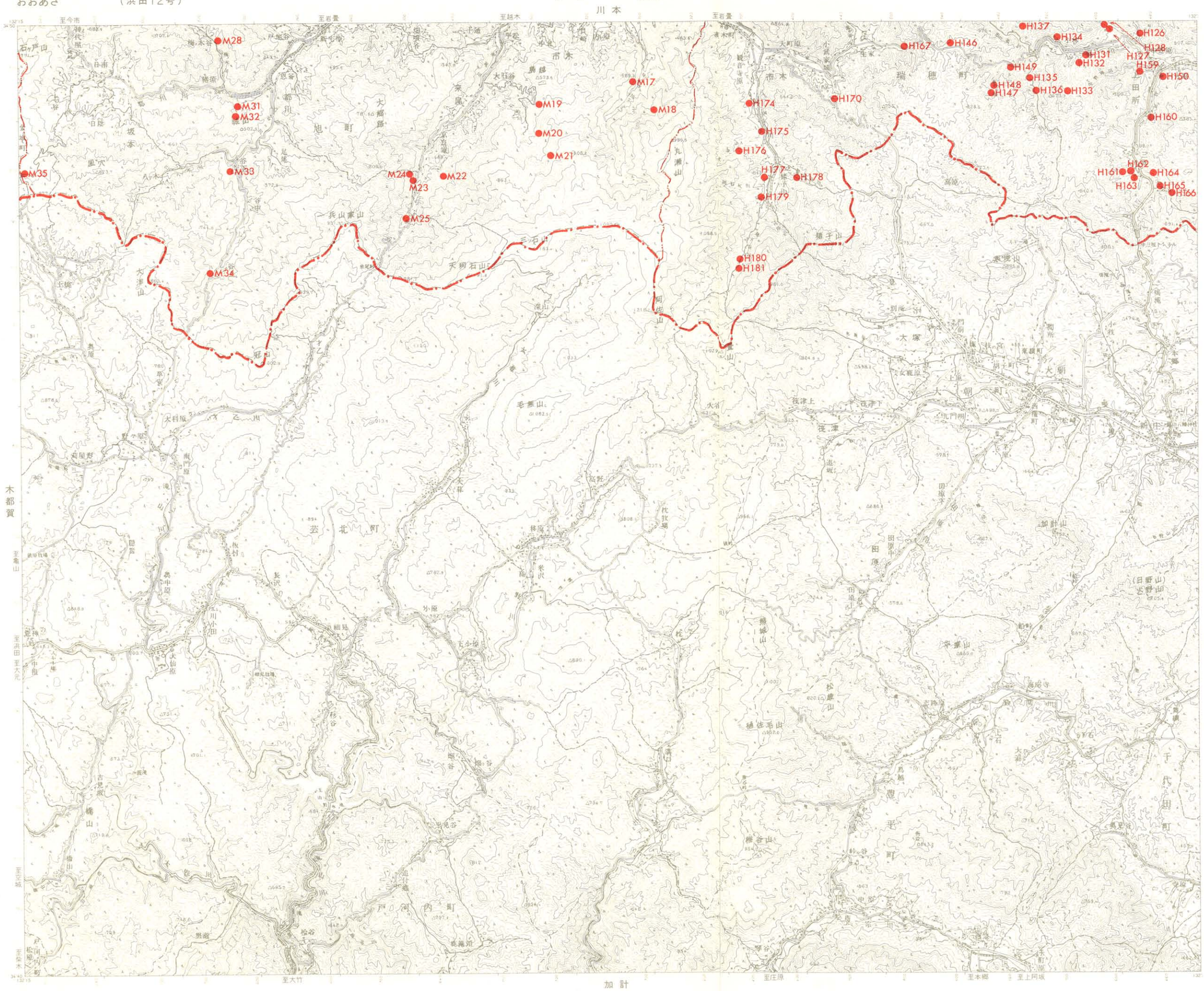
(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-12
おおあさ　（浜田12号）

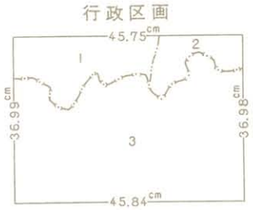
大　朝



10. 大　朝

H. 邑智郡瑞穂町
M. 那賀郡旭町

行政区画



島根県
1. 那賀郡　2. 邑智郡
広島県
3. 山県郡

索引図

浜田	川本（浜田）	赤名
木都賀		八重
三段峡	加計（広島）	可部

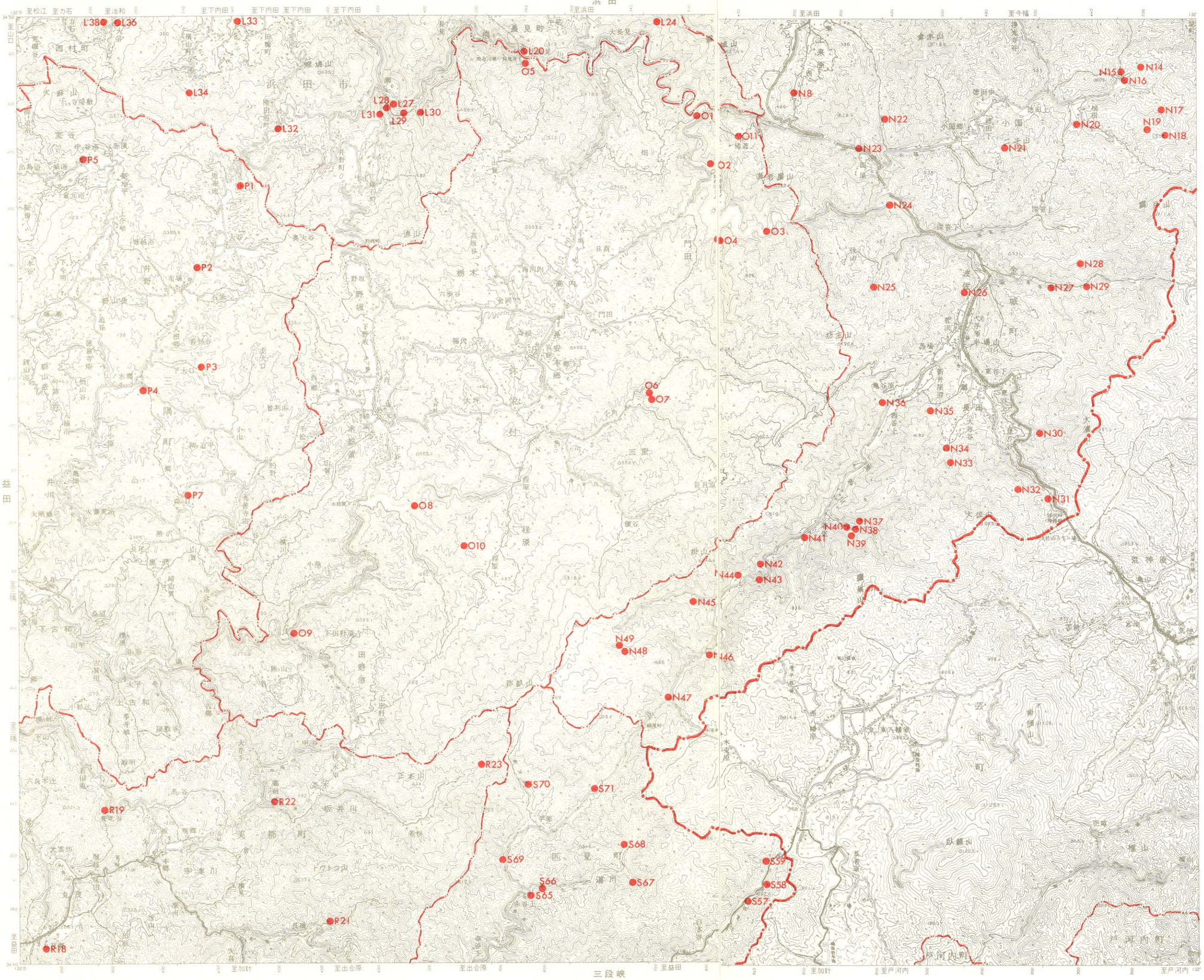
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-16
きつか　（浜田16号）

木都賀



11. 木都賀

L. 浜田市
N. 那賀郡金城町
O. 那賀郡弥栄村
P. 那賀郡三隅町
R. 美濃郡美都町
S. 美濃郡匹見町

行政区画

島根県
1. 浜田市　2. 那賀郡
3. 美濃郡
広島県
4. 山県郡

索引図

	浜田	川本
(見島) 益田	(浜田)	大朝
日原 (山口)	三段峡 (広島)	加計

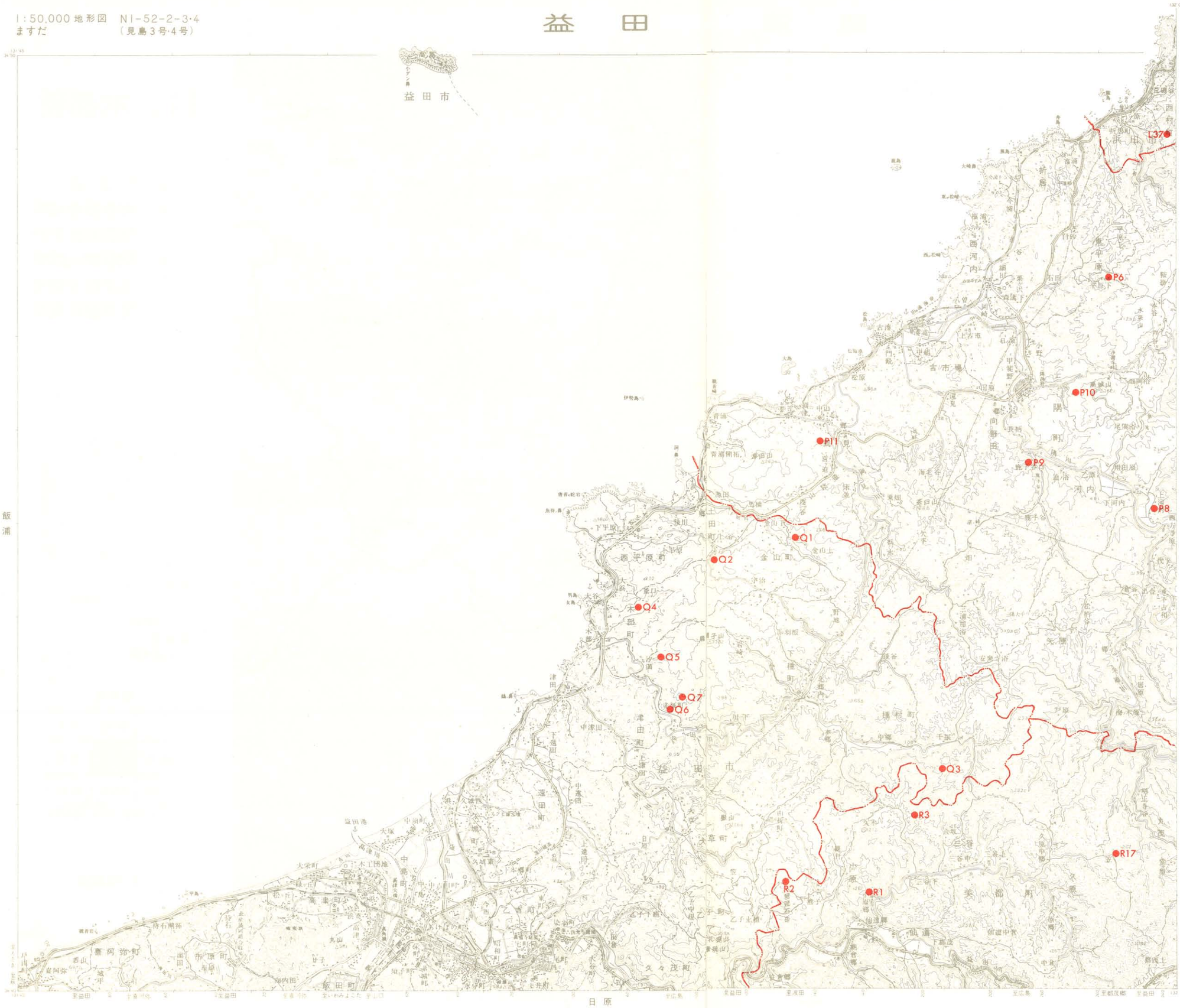
(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-52-2-3・4
ますだ　（見島3号・4号）

益　田



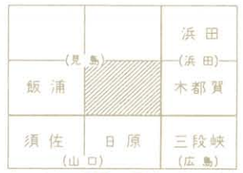
12. 益　田

L. 浜田市
P. 那賀郡三隅町
Q. 益田市
R. 那賀郡美都町

行政区画

島根県
1. 益田市　2. 那賀郡
3. 浜田市　4. 美濃郡

索引図



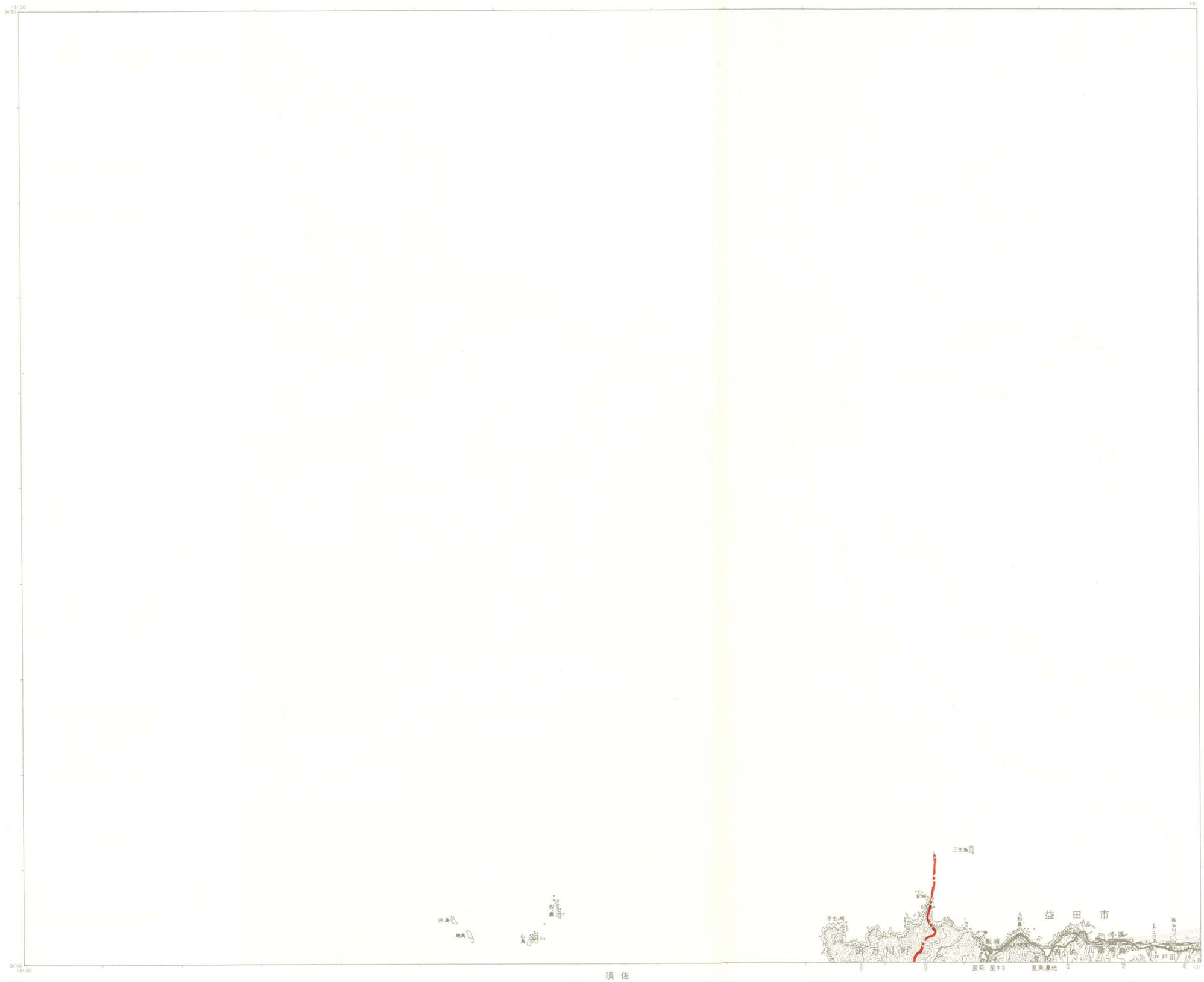
(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-52-2-8
いいのうら　（見島8号）

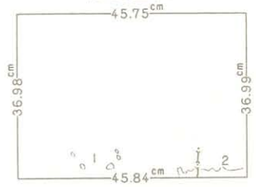
飯　浦



13. 飯　浦

Q. 益田市

行政区画



山口県
1. 阿武郡
島根県
2. 益田市

索引図

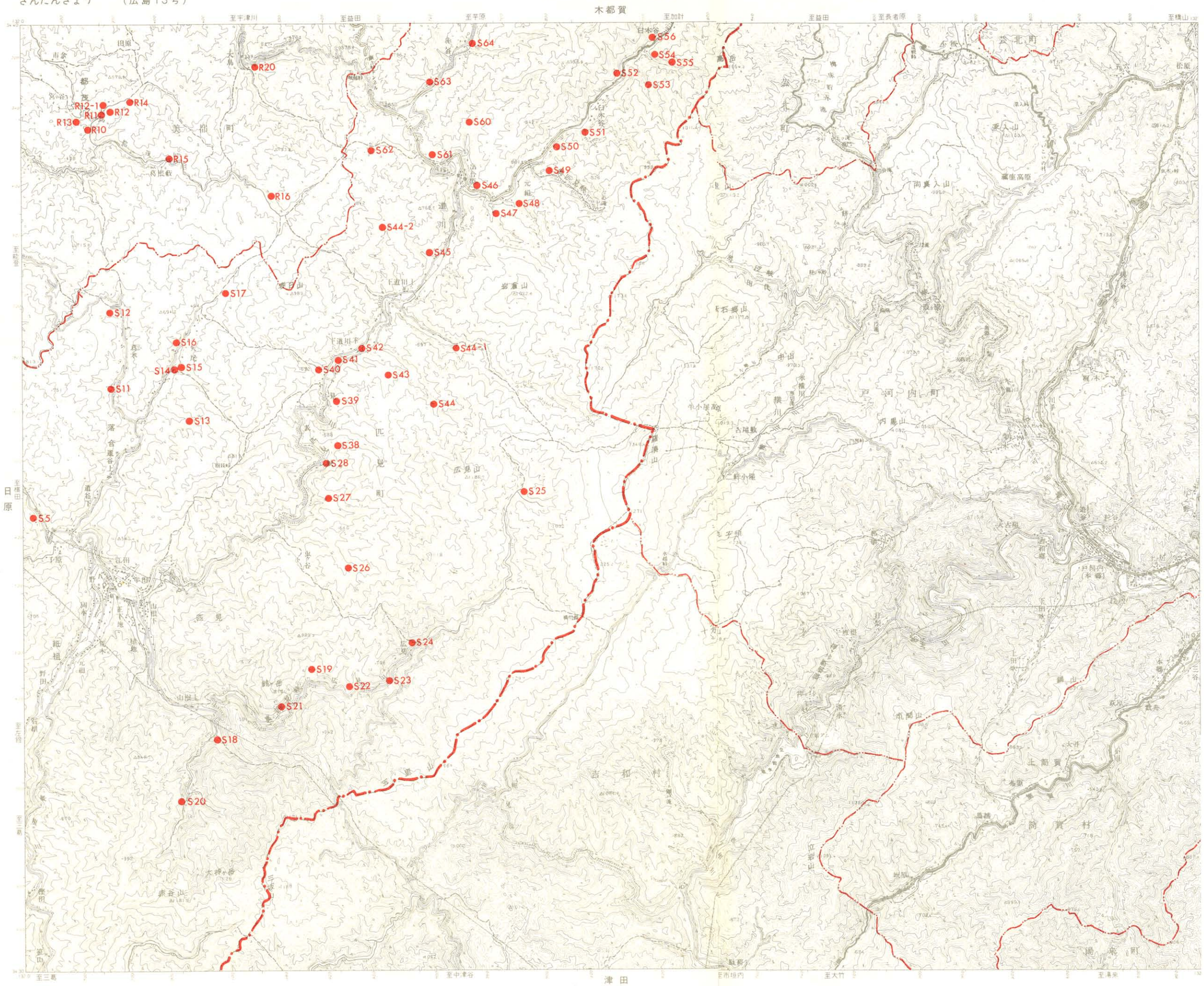
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-33-13
さんだんきょう　（広島13号）

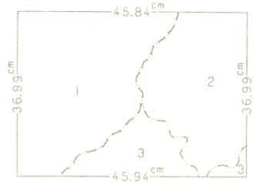
三段峡



14. 三段峡

R. 美濃郡美都町
S. 美濃郡匹見町

行政区画



島根県
1. 美濃郡
広島県
2. 山県郡　3. 佐伯郡

索引図

益田（見島）	木都賀（兵田）	大朝
日原（山口）		加計（広島）
津和野	津田	広島

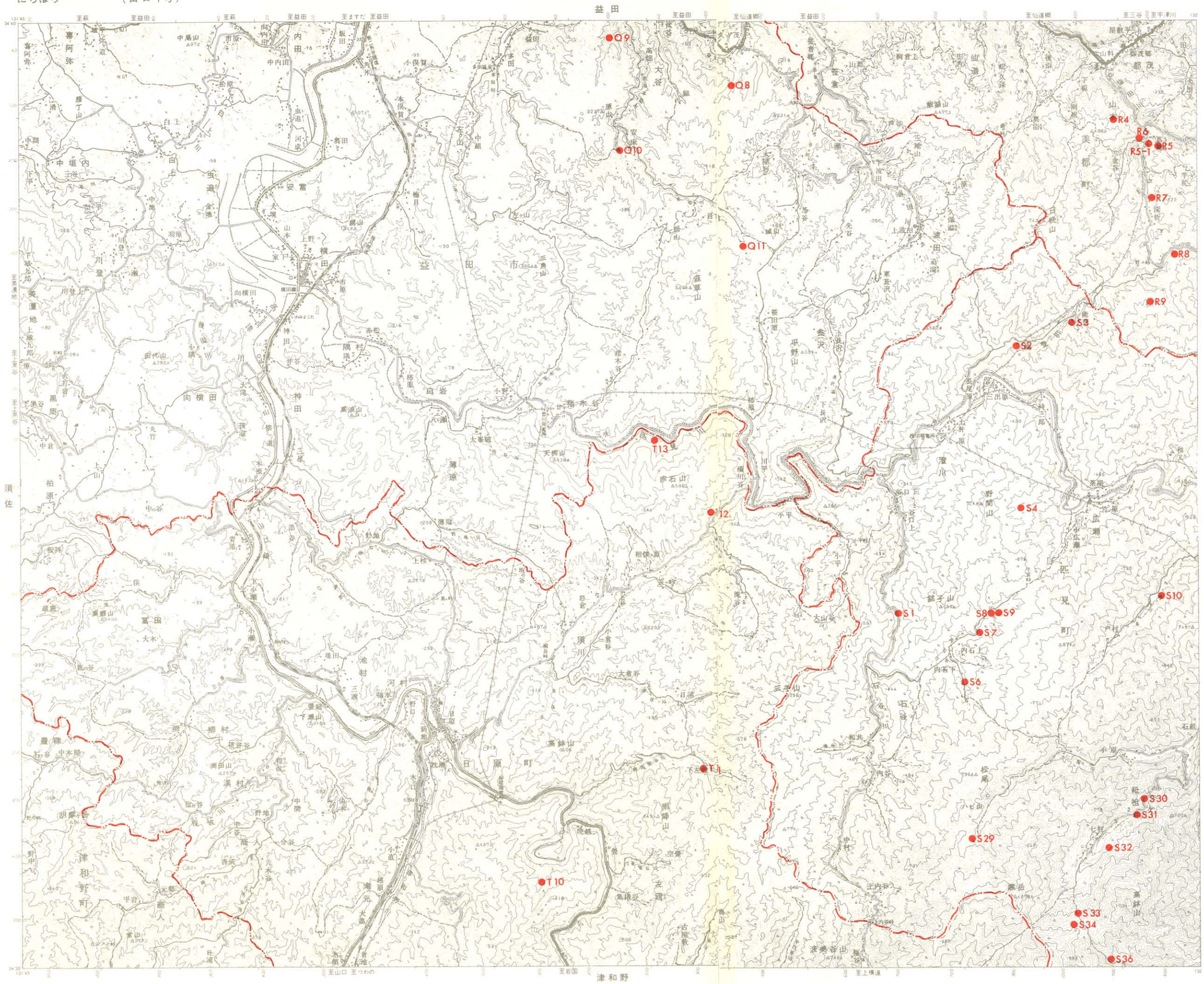
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-52-3-I
にちはら　（山口1号）

日　原



15. 日　原

Q. 益田市
R. 美濃郡美都町
S. 美濃郡匹見町
T. 鹿足郡日原町
W. 鹿足郡津和野町

行政区画

島根県
1.益田市　2.美濃郡
3.鹿足郡

索引図

飯浦	益田 (見島)	木都賀 (浜田)
須佐 (山口)		三段峡 (広島)
徳佐中	津和野	津田

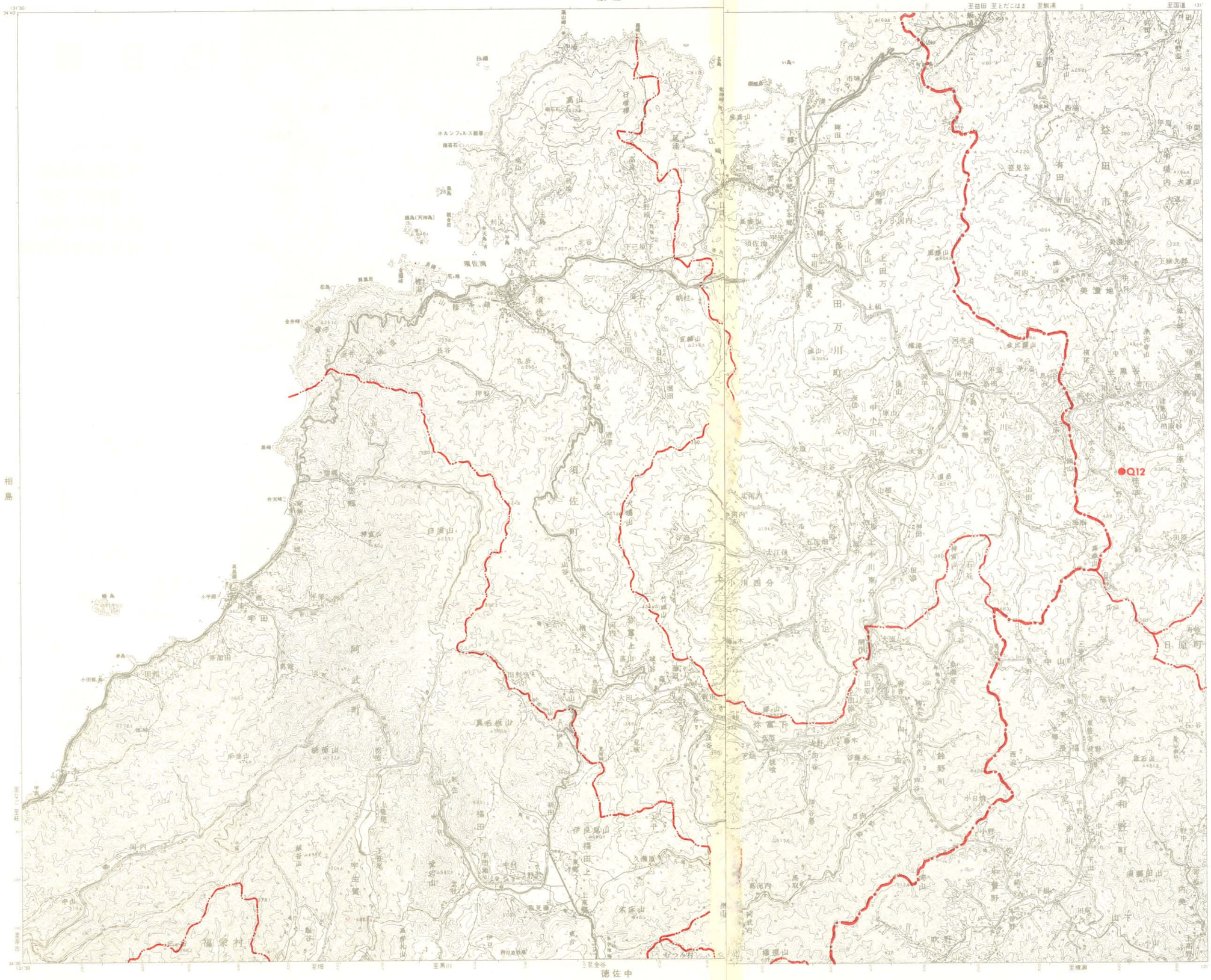
(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-52-3-5
すさ　（山口5号）

須　佐



16. 須　佐

Q. 益田市

行政区画

山口県
1. 阿武郡
島根県
2. 益田市　3. 鹿足郡

索引図

	飯浦（見島）	益田
相島		日原
萩	（山口）徳佐中	津和野

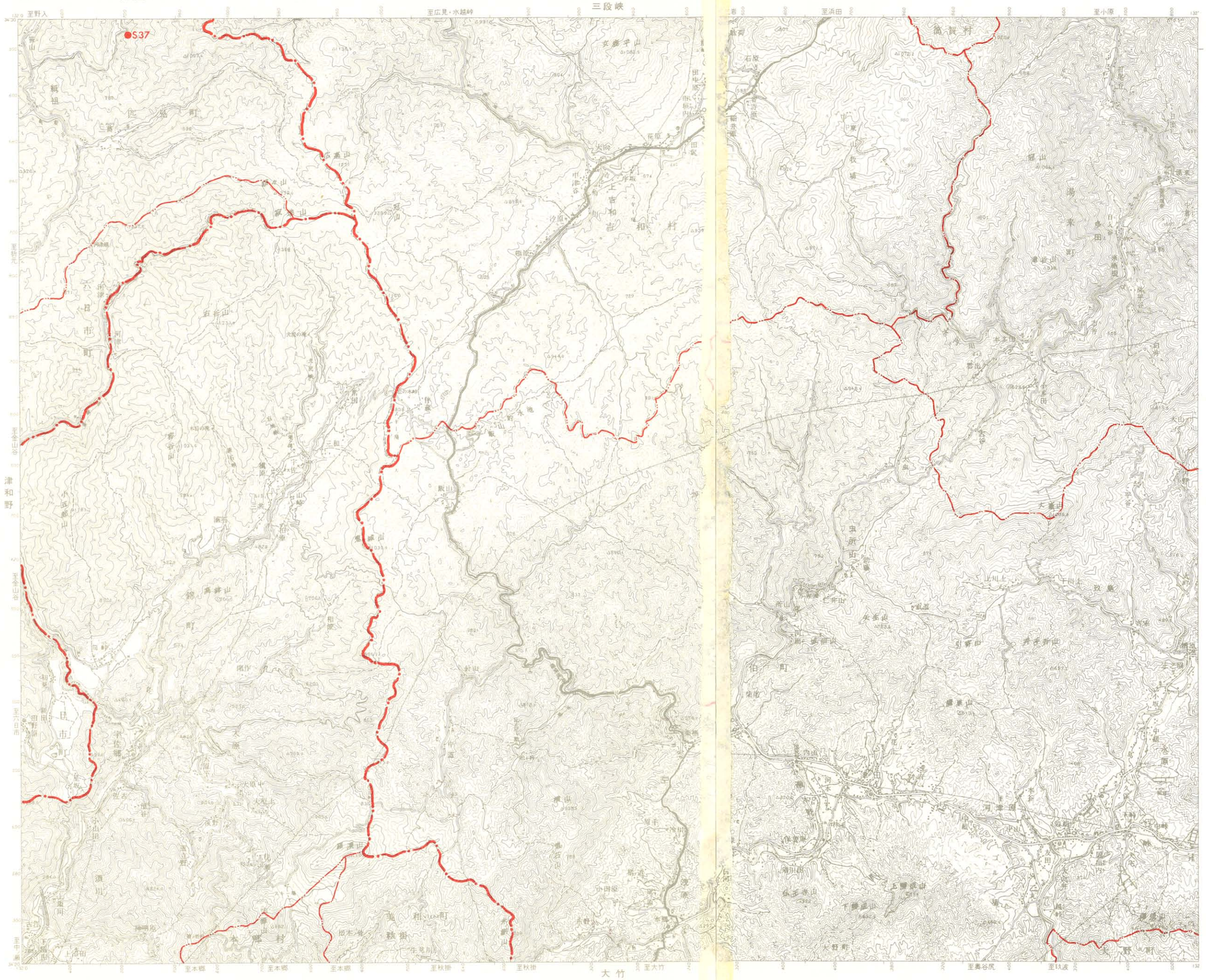
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-33-14
つた　（広島14号）

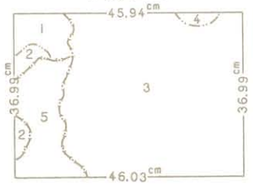
津　田



17. 津　田

S. 美濃郡匹見町

行政区画



島根県
1. 美濃郡　2. 鹿足(かのあし)郡

広島県
3. 佐伯郡　4. 山県郡

山口県
5. 玖珂郡

索引図

日原	三段峡	加計
津和野（山口）		広島（広島）
鹿野	大竹	厳島

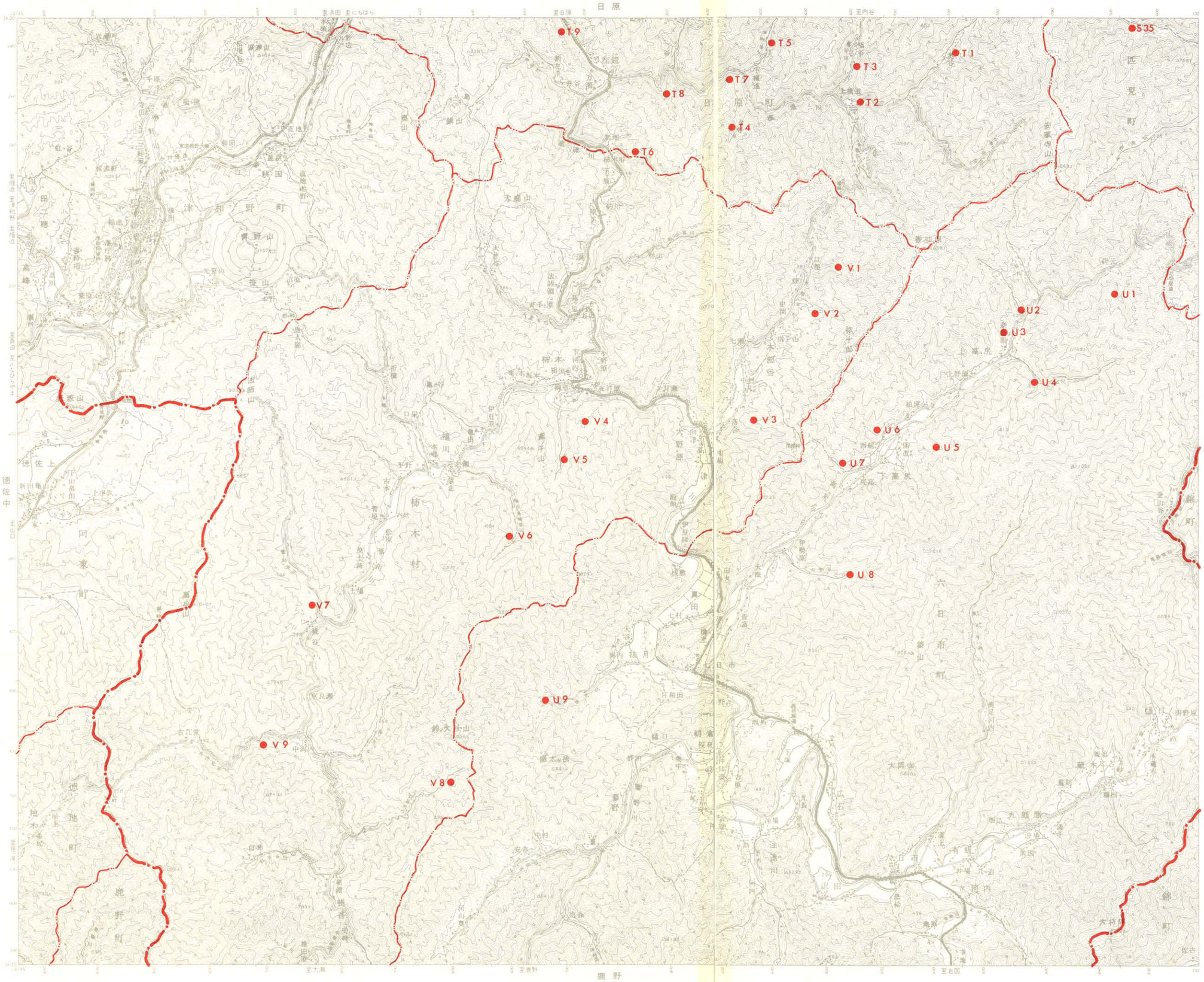
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-52-3-2
つわの　（山口2号）

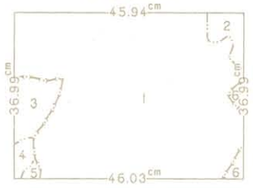
津和野



18. 津和野町

S. 美濃郡匹見町
T. 鹿足郡日原町
U. 鹿足郡六日市町
V. 鹿足郡柿木村
W. 鹿足郡津和野町

行政区画



島根県
1.鹿足郡　2.美濃郡
山口県
3.阿武郡　4.佐波郡
5.都濃郡　6.玖珂郡

索引図

須佐	日原	三段峡
徳佐中（山口）		津田（広島）
長門峡	鹿野	大竹

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

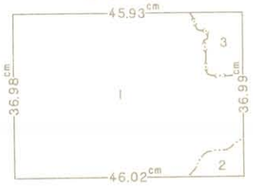
1:50,000 地形図　NI-52-3-6
とくさなか　（山口6号）

徳佐中

19. 徳佐中

W. 鹿足郡津和野町

行政区画



山口県
1.阿武郡　2.佐波郡
島根県
3.鹿足郡

索引図

相島	須佐	日原
萩	(山口)	津和野
山口	長門峡	鹿野

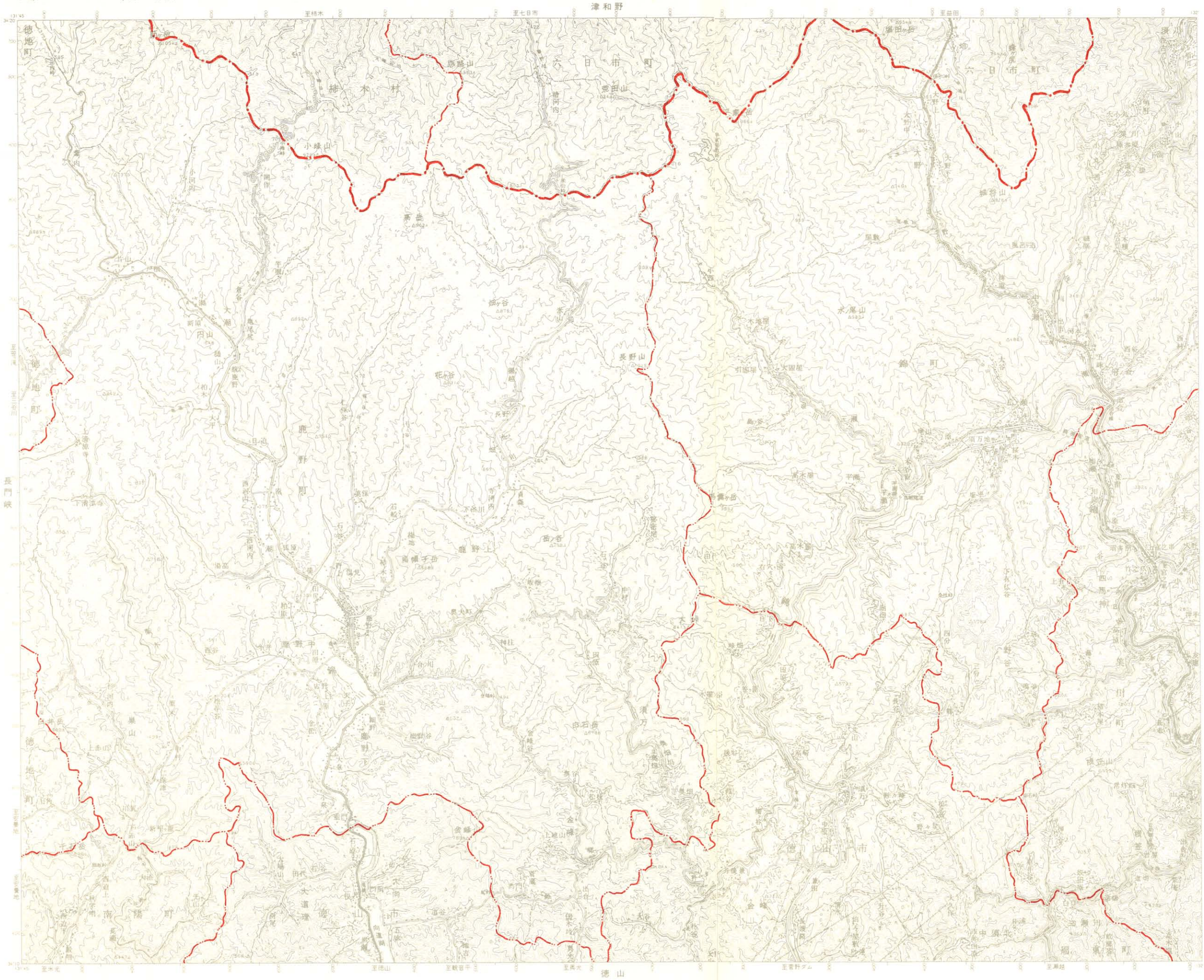
(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-52-3-3
かの　（山口3号）

鹿　野



20. 鹿　野

U. 鹿足郡六日市町
V. 鹿足郡柿木村

行政区画

島根県
1. 鹿足郡
山口県
2. 佐波郡　3. 都濃郡
4. 玖珂郡　5. 徳山市

索引図

徳佐中	津和野	津田
長門峡（山口）		大竹（広島）
防府	徳山	岩国

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

石見部製鉄遺跡所在地一覧表

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
A　大田市	A　1	下多根鈩	三瓶町　多根　下多根	鉄滓	1
	A　2	多根鍛冶屋床鈩	三瓶町　多根　鍛冶屋床ロ 98	鉄滓	1
	A　3	野城久谷鈩床鈩	三瓶町　野城　久谷鈩床　他 152 他	鉄滓	1
	A　4	野城鈩	三瓶町　野城	鉄滓　小舟　土器片	1
	A　5	五十猛金クソ鈩	五十猛町　金クソ 2506	鉄滓	2
	A　6	五十猛鈩山鈩	五十猛町　鈩山 2325	鉄滓	2
	A　7	八日市鍛冶屋	静間町　八日市　鍛冶屋		2
	A　8	八日市鈩山鈩	静間町　八日市　鈩山	鉄滓	2
	A　9	志学カジヤ田鈩	三瓶町　志学　カジヤ田 185 他	鉄滓	3
	A　10	市原鍛冶屋田鈩	久利町　市原　鍛冶屋田ロ 202	鉄滓	4
	A　11	大家鈩ヤ畑鈩	大代町　大家　鈩ケ畑 1422 他	鉄滓　須恵器細片	4
	A　12	大家カジヤ畑鈩	大代町　大家　カジヤ畑 111 ―甲	鉄滓	4
	A　13	殿竹遺跡	久利町　殿竹 950 他	鉄滓　須恵器細片	4
	A　14	大国屋波鈩	大屋町　大国　尾波	鉄滓	4
	A　15	大屋金床鈩	大屋町　金床他 457 他	鉄滓	4
	A　16	鬼村鈩	大屋町　鬼村	鉄滓　焼土（鈩壁片）金屋子神社	4
	A　17	迫遺跡	久手町　迫 1160 他	鉄滓　土師器片須恵器片	2
	A　18	大西Ｃ遺跡	久手町　刺鹿　大西 1090 他	鉄滓　土師器片須恵器片他	1
	A　19	山中鈩迫鈩	祖式町　山中　鈩迫他 1673 他	鉄滓	4
B　邇摩郡仁摩町	B　1	宅野鈩	宅野　たたら	鉄滓　金屋子神社	4
C　邇摩郡温泉津町	C　1	鈩の鈩	湯里大字湯里　鈩	鉄滓	4
	C　2	鈩床鈩	温泉津　日祖鈩床	鉄滓	4
	C　3	金剛谷鈩	温泉津　日祖金剛谷	鉄滓	4
	C　4	鈩谷鈩	温泉津大字小浜　上毛鈩谷	鉄滓	4
D　邑智郡邑智町	D　1	湧利原鈩	沢谷字猪子田	鉄滓	3
	D　2	保関鈩 1	沢谷字連水	鉄滓	3
	D　3	保関鈩 2	沢谷字連水	鉄滓	3
	D　4	白泉鈩	沢谷字光峠	鉄滓　多量	3
	D　5	たたら原鈩	沢谷字市	鉄滓	3
	D　6	かじや鈩	沢谷字花ノ谷	鉄滓　金池らしきものあり	3
	D　7	段上原鈩	沢谷字花ノ谷	鉄滓	3
	D　8	花の谷鈩	沢谷字花ノ谷	鉄滓	3
	D　9	たたらケ谷鈩	沢谷字片山	鉄滓	3
	D　10	屋敷奥かじや鈩	浜原字本郷	鉄滓	3

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
D　邑智郡邑智町	D　11	山谷鈩	浜原字上川戸	鉄滓	3
	D　12	居鈩	粕渕字上粕渕	鉄滓	3
	D　13	野間鈩	粕渕字野間	鉄滓　金池らしきものあり	3
	D　14	湯抱鈩１	粕渕字湯抱	鉄滓	3
	D　15	湯抱鈩２	粕渕字湯抱	鉄滓	3
	D　16	志君鈩	君谷字志君	鉄滓	3
	D　17	土居鈩	君谷字志君	鉄滓　多量	3
	D　18	元山かじや鈩	君谷字分附		3
	D　19	金くそ谷鈩	君谷字分附	鉄滓	3
	D　20	奥山鈩	吾郷字奥山		3
	D　21	火の谷鈩	吾郷字高畑	鉄滓	3
	D　22	たたら迫鈩	吾郷字奥山	鉄滓	3
	D　23	京覧原鈩	君谷字松代谷		3
	D　24	銅が丸鈩	乙原	鉄滓	3
	D　25	火打谷鈩	築瀬字石見	鉄滓　金屋子神社	3
	D　26	石見鈩	浜原字石見	鉄滓	3
	D　27	銅ゲ谷鈩	浜原字信喜	鉄滓	3
E　邑智郡大和村	E　1	今山１号鈩	大字潮　今山	野鈩か？	3
	E　2	今山２号鈩	大字潮　今山	『大和村誌』	3
	E　3	奥田鈩	大字潮　今山奥田	野鈩跡と思われる	3
	E　4	ヤブツ谷鈩	大字潮　下潮　53	高殿　鉄滓	3
	E　5	中河原鈩	大字潮　潮　中河原	高殿	3
	E　6	ミソ山鈩	大字潮　二合谷	『大和村誌』　高殿	3
	E　7	二合鈩	大字潮　二合谷	『大和村誌』 金屋子神あり	3
	E　8	潮谷鈩	大字潮　潮谷	金屋子神あり　鉄滓	3
	E　9	曲利下鈩	大字潮　曲利	高殿	3
	E　10	曲利上鈩	大字潮　曲利	『大和村誌』　高殿	3
	E　11	タタラゾネ鈩	大字潮　曲利　タタラゾネ	野鈩跡	3
	E　12	源田山１号鈩	大字長藤　源田山	鉄滓	6
	E　13	源田山２号鈩	大字長藤　源田山	『大和村誌』　高殿 金屋子神	6
	E　14	響谷鈩	大字長藤　長藤	村誌の蒲代鈩か？	6
	E　15	荷越瀬鈩	大字都賀本郷　本郷	高殿　『大和村誌』	6
	E　16	高田鈩	大字都賀本郷　大原迫	『大和村誌』　高殿 金屋子神	6
	E　17	新道寺鈩	大字　上野　新道路谷	『大和村誌』　高殿か	6
	E　18	上野鈩	大字　上野　上野	『大和村誌』　高殿	6
	E　19	乙谷鈩	大字都賀西　乙谷　神組	『大和村誌』　高殿	6

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
E　邑智郡大和村	E　20	中の原鈩	大字都賀行　日平		6
	E　21	大原鈩	大字都賀行　日平	鍛冶澤も大量にあり近くに12ケ所の鈩があったと伝えられる。金屋子神	6
	E　22	日平鈩	大字都賀行　日平	高殿　『大和村誌』	6
	E　23	立掛山鈩	大字都賀行　日平	高殿　『大和村誌』	6
	E　24	大槇谷鈩	大字都賀行　日平	高殿　『大和村誌』	6
	E　25	猪之谷鈩	大字都賀行　猪之谷	高殿　『大和村誌』	6
	E　26	カナ子谷鈩	大字村之郷　上笹目	高殿か	6
	E　27	砥石ケ谷鈩	大字村之郷　上笹目		6
	E　28	十王鈩	大字村之郷　宮内	高殿　『大和村誌』	6
	E　29	向井迫鈩	大字村之郷　村之郷		6
	E　30	村の郷上鈩	大字村之郷　村之郷上	大鍛冶屋跡の可能性あり	6
	E　31	下畑鈩	大字村之郷　下畑	『大和村誌』の丸山鈩か	6
F　邑智郡羽須美村	F　1	本田１号鈩	大字雪田　本田	野鈩か？	6
	F　2	伏谷屋横鈩	大字雪田　本田	野鈩か？	6
	F　3	本田２号鈩	大字雪田　本田	高殿	6
	F　4	下本田奥鈩	大字雪田　本田	炉壁片	6
	F　5	石堂越鈩	大字雪田　中雪田竹	野鈩か？	6
	F　6	上雪田鈩	大字雪田　上雪田	鉄滓	6
	F　7	森原鈩	大字雪田　上雪田	高殿　大鍛冶屋もあり	6
	F　8	鈩床鈩	大字阿須那　旅迫下	高殿２基あり	6
	F　9	古池鈩	大字阿須那　旅迫古池	高殿	6
	F　10	落合大鍛冶屋跡	大字口羽　青石　落合3491－1		6
	F　11	落合鈩	大字口羽　青石　落合3491－1	高殿	6
G　邑智郡川本町	G　1	志谷鈩	志谷	鉄滓	7
	G　2	小深山鈩	日向	鉄滓　多量	7
	G　3	尾部志鈩	因原	鉄滓	7
	G　4	挽谷鈩	挽谷	鉄滓	7
	G　5	菅之谷鈩	挽谷	鉄滓	7
	G　6	菅之谷青松鈩	挽谷	鉄滓	7
H　邑智郡瑞穂町	H　1	長源寺谷奥鈩	大字布施　長源寺谷	２ケ所の可能性あり	6
	H　2	仏原鈩	大字布施　長源寺谷	高殿	6
	H　3	長源寺鈩	大字布施　布施	高殿　フイゴは瑞穂町郷土館に復元	6
	H　4	長源寺谷下鈩	大字布施　布施	高殿	6
	H　5	畑１号鈩	大字布施　畑	高殿	6

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
H　邑智郡瑞穂町	H　6	畑２号鈩	大字布施　畑	野鈩	6
	H　7	畑３号鈩	大字布施　畑	野鈩	6
	H　8	畑４号鈩	大字布施　畑	高殿	6
	H　9	井出の原鈩	大字布施　下畑	高殿　（坪石タタラとも言う）	6
	H　10	長ツミ鈩	大字布施　布施	大鍛冶の可能性あり	6
	H　11	上市鈩	大字八色石　上市	高殿	6
	H　12	伊矢谷１号鈩	大字布施　伊矢谷	野鈩か	6
	H　13	伊矢谷２号鈩	大字布施　伊矢谷	高殿 タタラバの地名あり	6
	H　14	伊矢谷３号鈩	大字布施　伊矢谷	野鈩か	6
	H　15	伊矢谷４号鈩	大字布施　伊矢谷	野鈩か	6
	H　16	伊矢谷６号鈩	大字布施　伊矢谷	金池らしきものあり	6
	H　17	伊矢谷７号鈩	大字布施　伊矢谷	高殿	6
	H　18	オオゾウ谷鈩	大字布施　伊矢谷		6
	H　19	服部影山谷鈩	大字高見　萩原	野鈩	6
	H　20	萩原鈩	大字高見　萩原　久庄原 1880		6
	H　21	小藪１号鈩	大字高見　桑ノ木 2129－5		6
	H　22	山武造鈩	大字高見　桑ノ木 2129－5		6
	H　23	小藪２号鈩	大字高見　桑ノ木 2129－5	高殿	6
	H　24	タズ谷鈩	大字高見　桑ノ木 2129－5		6
	H　25	シジラ畑鈩	大字高見　桑ノ木 2129－5	高殿	6
	H　26	鳥越鈩	大字高見　円之板 2131	高殿	6
	H　27	円之板鈩	大字高見　円之板 2126－3	高殿	6
	H　28	野鍛冶鈩	大字高見　円之板 3134		6
	H　29	桐之木本鈩	大字高見　桐之木 2139－2	高殿	6
	H　30	桐之木中鈩	大字高見　桐之木 2138		6
	H　31	向鈩	大字高見　桐之木 2137		6
	H　32	相ケ迫鈩	大字高見　円之板		6
	H　33	大鍛冶屋跡	大字高見　高見町		6
	H　34	田之原坂鈩	大字伏谷　上伏谷	野鈩	6
	H　35	伏谷鈩	大字伏谷　上伏谷		6
	H　36	井出ケ谷鈩	大字伏谷　金渕	高殿	6
	H　37	金渕鈩	大字伏谷　金渕　ふるさと 695	高殿	6
	H　38	伏谷鈩	大字伏谷　金渕　鈩 693	高殿	6
	H　39	鈩奥鈩	大字伏谷　金渕		6
	H　40	金蔵奥鈩	大字伏谷　金渕　金蔵		6
	H　41	上伏谷鈩	大字伏谷　上伏谷		6
	H　42	鈩床鈩	大字伏谷　上伏谷 208	高殿	6

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
H　邑智郡瑞穂町	H　43	登尾鈩	大字伏谷　下伏谷	野鈩か？	6
	H　44	青松ワル谷鈩	大字伏谷　下伏谷784－12		6
	H　45	吉時1号鈩	大字伏谷　吉時	野鈩　鉄滓	6
	H　46	吉時2号鈩	大字伏谷　吉時タンド城手1656－8	高殿	6
	H　47	馬場大鍛冶屋跡	大字伏谷　馬場		6
	H　48	野鍛冶鈩	大字伏谷　馬場大番谷252－4		6
	H　49	ワタケ谷鈩	大字伏谷　馬場ワタケ谷2404		6
	H　50	堂ケ迫鈩	大字伏谷　安田堂ケ迫576		6
	H　51	下和田鈩	大字和田　下和田		6
	H　52	小杉鈩	大字原村　谷川		6
	H　53	鉄穴原鈩	大字原村　上側		6
	H　54	野田原鈩	大字原村　上和田		6
	H　55	川池鈩	大字原村　上原		6
	H　56	鉄穴内鈩	大字山田　後谷	野鈩	6
	H　57	鍛冶屋田鍛冶跡	大字山田　後谷	野鈩	6
	H　58	大原鈩	大字岩屋　大原	高殿	6
	H　59	大原鍛冶屋跡	大字岩屋　大原	大鍛冶、金屋子神あり	6
	H　60	鈩床鈩	大字岩屋　奥岩屋	野鈩か？	6
	H　61	後木屋奥鈩	大字久喜　後木屋	野鈩か？	6
	H　62	土居鈩	大字久喜　後木屋	野鈩か？	6
	H　63	芦ノ谷鈩	大字久喜　後木屋　芦之谷	野鈩か？	6
	H　64	栃谷鈩	大字久喜　百石　栃谷	野鈩か？	6
	H　65	久喜鈩	大字久喜　百石	野鈩か？	6
	H　66	大林鈩	大字久喜　大林	高殿　小舟様の空洞あり	6
	H　67	淀原大湟鈩	大字淀原　淀原大湟内	野鈩か？	6
	H　68	コンコロ鈩	大字鱒渕　馬の原上　緩木	野鈩	6
	H　69	吉ケ谷鈩	大字鱒渕　馬の原上　緩木	高殿　『瑞穂町誌』	6
	H　70	橋ケ谷鈩	大字鱒渕　馬の原上　緩木	高殿　『瑞穂町誌』	6
	H　71	上緩木裏鈩	大字鱒渕　馬の原上　緩木	野鈩	6
	H　72	くらかけ鈩	大字鱒渕　馬の原上　緩木	野鈩	6
	H　73	下緩木口鈩	大字鱒渕　馬の原上　緩木	野鈩	6
	H　74	下緩木鈩	大字鱒渕　馬の原上　緩木	高殿　金池押立柱1本あり　大鍛冶屋あり	6
	H　75	火さけ原鈩	大字鱒渕　馬の原上　緩木	高殿か？	6
	H　76	大鈩	大字鱒渕　馬の原上　大鈩	高殿　田の中央に立石あり	6
	H　77	金蔵鈩	大字鱒渕　馬の原上　金蔵	高殿	6
	H　78	金蔵大鍛冶屋跡	大字鱒渕　馬の原上　金蔵	鉄滓	6
	H　79	緩木越鈩	大字鱒渕　馬の原上　荷メ峠	野鈩	6

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
H　邑智郡瑞穂町	H　80	火所原鈩	大字鱒渕　馬の原上　高見谷	高殿か	6
	H　81	鈩迫鈩	大字鱒渕　馬の原上　高見谷	野鈩　鉄滓	6
	H　82	栃谷鈩	大字鱒渕　馬の原上　栃谷	高殿か	6
	H　83	小緩木１号鈩	大字鱒渕　馬の原上　小緩木	野鈩	6
	H　84	小緩木２号鈩	大字鱒渕　馬の原上　小緩木		6
	H　85	古戦場鈩	大字鱒渕　馬の原上　古戦場	高殿	6
	H　86	玉木屋裏鈩	大字鱒渕　馬の原上		6
	H　87	後友鈩	大字鱒渕　馬の原上　後友		6
	H　88	後友大鍛冶屋跡	大字鱒渕　馬の原上　後友		6
	H　89	鈩跡鈩	大字鱒渕　白谷	高殿	7
	H　90	高鈩所鈩	大字鱒渕　新山	高殿	7
	H　91	一木本峠鈩	大字鱒渕　新山	野鈩	7
	H　92	境ケ谷鈩	大字鱒渕　新山	高殿	7
	H　93	ハゲ谷１号鈩	大字鱒渕　白谷ハゲ		7
	H　94	ハゲ谷２号鈩	大字鱒渕　白谷ハゲ		7
	H　95	松ケ谷鈩	大字鱒渕　下対		6
	H　96	下対中鈩	大字鱒渕　下対	野鈩	6
	H　97	釜ケ谷鈩	大字鱒渕　下対　釜ケ谷		7
	H　98	堀ケ谷鈩	大字鱒渕　下対　釜ケ谷	高殿	7
	H　99	小河内鈩	大字鱒渕　下対		7
	H　100	萩谷鈩	大字鱒渕　下対		7
	H　101	タタラゾネ鈩	大字下田所　堂所谷　吉ケ迫	野鈩	6
	H　102	真庭製鉄遺跡	大字下田所　中組	野鈩または大鍛冶	6
	H　103	手釜谷オンヂ鈩	大字上亀谷　奥亀谷		9
	H　104	鈩小深谷鈩	大字上亀谷　奥亀谷	高殿	9
	H　105	中吉屋裏鈩	大字上亀谷　奥亀谷	野鈩	9
	H　106	鍛冶原大鍛冶跡	大字上亀谷　奥亀谷　鍛冶原		9
	H　107	吠谷鈩	大字上亀谷　奥亀谷　吠谷口	高殿	9
	H　108	古鈩鈩	大字上亀谷　奥亀谷　古鈩		9
	H　109	カリイ谷鈩	大字上亀谷　朝原　大金谷	野鈩	9
	H　110	須以佐喜鈩	大字上亀谷　朝原　大金谷	高殿	9
	H　111	場朽岩鈩	大字上亀谷　朝原　大金谷	野鈩	9
	H　112	大金谷鈩	大字上亀谷　朝原　大金谷	高殿	9
	H　113	伽藍鈩	大字上亀谷　朝原　伽藍	大鍛冶跡かも知れない	6
	H　114	高砂鈩	大字上田所　若杉　高砂	野鈩	7
	H　115	若杉鈩	大字上田所　若杉	高殿　安来和鋼記念館の鈩用具はこの鈩で使用されたもの	7
	H　116	ホドコロ鈩	大字上田所　道明		7

市町村名	第号	名称	所在地	備考	地図番号
H　邑智郡瑞穂町	H 117	ヤブツ鈩	大字上田所　道明　ヤブツ〃	野鈩か	7
	H 118	亀崎屋裏鈩	大字上田所　道明	野鈩か	7
	H 119	亀谷屋裏鈩	大字上田所　道明　赤小豆谷	高殿か？	7
	H 120	赤小豆谷鈩	大字上田所　道明　赤小豆谷		7
	H 121	仏ケ原鈩	大字上田所　道明　仏ケ原	高殿	7
	H 122	枯木原鈩	大字上田所　道明　枯木原	高殿	7
	H 123	カイガラガマ鈩	大字上田所　道明　枯木谷	野鈩	7
	H 124	下稲迫鈩	大字上田所　道明　枯木谷	野鈩	7
	H 125	本稲迫鈩	大字上田所　道明　枯木谷	野鈩	7
	H 126	玉田鈩	大字上田所　中野原　玉田	野鈩	10
	H 127	野々谷１号鈩	大字上田所　中野原　野々谷	高殿	10
	H 128	野々谷２号鈩	大字上田所　中野原　野々谷	高殿	10
	H 129	野々谷３号鈩	大字上田所　中野原　野々谷	野鈩	7
	H 130	野々谷４号鈩	大字上田所　中野原　野々谷	高殿	7
	H 131	大桧鈩所鈩	大字上田所　小林	高殿	10
	H 132	鶴亀谷鈩	大字上田所　小林		10
	H 133	大桧鈩	大字上田所　小林　大桧	高殿	10
	H 134	森土居鈩	大字上田所　小林		10
	H 135	立岩１号鈩	大字上田所　小林　立岩	高殿	10
	H 136	立岩２号鈩	大字上田所　小林　立岩		10
	H 137	畑ケ迫鈩	大字上田所　小林　畑ケ道		10
	H 138	田之迫１号鈩	大字上田所　小林　田の迫	野鈩	7
	H 139	田之迫２号鈩	大字上田所　小林　田の迫	高殿	7
	H 140	道免鈩	大字上田所　小林　田の迫	野鈩	7
	H 141	水崎鈩	大字上田所　小林　田の迫	高殿	7
	H 142	すうめ谷鈩	大字上田所　小林　田の迫	高殿	7
	H 143	長尾原鈩	大字下亀谷　順庵原		7
	H 144	田之迫３号鈩	大字上田所　小林　田之迫	野鈩	7
	H 145	田之迫４号鈩	大字上田所　小林　田之迫	野鈩	7
	H 146	青松原鈩	大字上田所　小林　中之谷	高殿	10
	H 147	越ケ谷１号鈩	大字上田所　小林　中之谷	高殿	10
	H 148	越ケ谷２号鈩	大字上田所　小林　中之谷	高殿	10
	H 149	中の谷鈩	大字上田所　小林　中之谷	高殿	10
	H 150	ハリガネ屋敷鍛冶跡	大字上田所　中の原	大鍛冶跡と考えられる	10
	H 151	鍛冶屋敷大鍛冶跡	大字上亀谷　大草		9
	H 152	下城谷鈩	大字上亀谷　大草　恵草	高殿	9
	H 153	下滑谷鈩	大字上亀谷　大草　恵草	野鈩	9

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
H　邑智郡瑞穂町	H 154	上大草一号鈩	大字上亀谷　大草	野鈩	9
	H 155	上大草二号鈩	大字上亀谷　大草	野鈩または大鍛冶	9
	H 156	上大草三号鈩	大字上亀谷　大草	野鈩か	9
	H 157	大畑鈩	大字上亀谷　大草　大畑	高殿	9
	H 158	鈩屋敷鈩	大字上亀谷　大草	高殿	9
	H 159	小桧鈩	大字上田所　中の原　小桧	高殿	10
	H 160	鈩所鈩跡	大字上田所　中の原　三坂口	高殿	10
	H 161	通り谷一号鈩	大字上田所　三坂　深石		10
	H 162	通り谷二号鈩	大字上田所　三坂　深石		10
	H 163	鎌ケ谷鈩	大字上田所　三坂　鎌ケ谷	高殿　大鍛冶　野鍛冶もあったようである	10
	H 164	竹之内一号鈩	大字上田所　三坂		10
	H 165	竹之内二号鈩	大字上田所　三坂		10
	H 166	鈩田鈩	大字上田所　三坂		10
	H 167	熊山一号鈩	大字市木　生家	高殿	10
	H 168	滝ケ谷鈩	大字市木　生家　滝ケ谷	高殿	7
	H 169	熊山二号鈩	大字市木　生家　滝ケ谷	高殿	7
	H 170	合戦鈩	大字市木　小武家城	高殿	10
	H 171	大野一号鈩	大字市木　大野	高殿	7
	H 172	大野二号鈩	大字市木　大野	高殿	7
	H 173	鳥免鈩	大字市木　麦尾	高殿	7
	H 174	鉄穴鈩	大字市木　観音寺原		10
	H 175	宝祖原鈩	大字市木　観音寺原	高殿	10
	H 176	芦谷鈩	大字市木　猪子山　芦谷	高殿	10
	H 177	同形尻鈩	大字市木　猪子山　同形尻谷	高殿	10
	H 178	聖岩鈩	大字市木　猪子山　聖岩谷	高殿	10
	H 179	猪子山鈩	大字市木　猪子山	野鈩	10
	H 180	菅野一号鈩	大字市木　猪子山	高殿	10
	H 181	菅野二号鈩	大字市木　猪子山	高殿	10
	H 182	鈩谷鈩	大字鱒渕　永明寺	野鈩	10
I　邑智郡桜江町	I 1	長尾鈩1	市山字長尾	鉄滓	7
	I 2	長尾鈩2	市山字長尾		7
	I 3	糸谷第1鈩	市山字江尾	鉄滓　金屋子神社	7
	I 4	糸谷第2鈩	市山字江尾	鉄滓　炉跡	7
	I 5	糸谷第3鈩	市山字江尾	鉄滓　金屋子さん（銑）	7
	I 6	八戸第1鈩	八戸字八戸東	鉄滓　裏の山手に金屋子松	7
	I 7	八戸第2鈩	八戸字八戸東	鉄滓	7

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
I　邑智郡桜江町	I　8	八戸第３鈩	八戸字冬見	鉄滓	7
	I　9	長谷鈩	長谷字南郷谷	鉄滓	7
	I　10	山中鈩	山中字山中東	鉄滓　金屋子さん（石）	7
	I　11	福島鈩	川戸字三田池	鉄滓　金池　金屋子さん（石）	7
	I　12	鈩前鈩	川戸字三田池	鉄滓　金屋子神(杉の木)	7
	I　13	鍛冶屋谷鈩	川戸字伏田池	鉄滓	7
	I　14	長戸路鈩	谷住郷字長戸路	鉄滓	7
	I　15	鍛冶屋鈩	谷住郷字押手	鉄滓	7
	I　16	亀渕鈩	谷住郷字上口	鉄滓	7
	I　17	伯屋鈩	谷住郷字谷	鉄滓　金屋子さん（椿の木）	7
	I　18	カマヤマ鈩	谷住郷字落合	鉄滓	7
	I　19	臼木鈩	川戸字臼木	鉄滓	7
	I　20	ハラ釜鈩	大貫字榎谷	鉄滓	7
	I　21	勘場鈩	大貫字久井谷		7
	I　22	釜ケ谷鈩	大貫字釜ケ谷	鉄滓	7
	I　23	岡田谷鈩	川越字田津	鉄滓　多量	7
	I　24	小松精錬所	川越字渡田	鉄滓	7
	I　25	田津谷鈩	川越字渡田	鉄滓	7
	I　26	坂本鈩	坂本	鉄滓　多量	7
	I　27	鹿賀鈩	鹿賀	鉄滓　金池	7
J　邑智郡石見町	J　1	高水第１鈩	大字矢上字高水	鉄滓　金池あり	7
	J　2	高水第２鈩	大字矢上字高水	鉄滓　金池らしきものあり	7
	J　3	高水第３鈩	大字矢上字高水		7
	J　4	中ノ谷鈩	大字矢上字金井谷	鉄滓	7
	J　5	原山鈩	大字矢上字原山	鉄滓	7
	J　6	知河原鈩	大字矢上字萩原	鉄滓	7
	J　7	古鈩	大字矢上字柚ノ木谷	鉄滓	7
	J　8	新鈩	大字矢上字柚ノ木谷	鉄滓　金池あり	7
	J　9	大利鈩	大字矢上字後原	鉄滓	7
	J　10	門谷鈩	大字中野字上別所	鉄滓　金屋子神社 昭和56年一部調査	7
	J　11	田の迫鈩	大字中野字田の迫所	鉄滓	7
	J　12	萩原鈩	大字中野　萩原鈩所	鉄滓　金池あり	7
	J　13	熊山鈩	大字中野　熊山	鉄滓　金池あり	7
	J　14	下城鈩	大字中野　長尾	鉄滓　野鈩か？	7
	J　15	長尾鈩	大字中野　長尾	鉄滓　金池あり	7
	J　16	志谷鈩	大字中野　志谷	鉄滓　金池あり	7

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
J　邑智郡石見町	J　17	野口鈩	大字中野　野口鈩所	鉄滓	7
	J　18	野口第２鈩	大字中野　おそごえ	鉄滓	7
	J　19	毛士第２鈩	大字中野　八万	鉄滓　多量	7
	J　20	毛士鈩	大字中野　八万	鉄滓　多量	7
	J　21	桧の迫鈩	大字井原　桧の迫	鉄滓	7
	J　22	長崎鈩	大字井原　手取	鉄滓	7
	J　23	二ノ峠鈩	大字井原　二ノ峠	鉄滓　金池あり	7
	J　24	三ノ峠鈩	大字井原　二ノ峠	鉄滓	7
	J　25	田の原鈩	大字井原　田の原	鉄滓　多量	7
	J　26	田元鈩	大字井原　田頭	鉄滓　多量	7
	J　27	野原鈩	大字井原　田頭	鉄滓	7
	J　28	駒次鈩	大字井原　駒次	鉄滓	7
	J　29	深籐川鈩	大字井原	鉄滓	7
	J　30	鯛の助鈩	大字井原	鉄滓　野鈩か？	7
	J　31	岩井谷第１鈩	大字井原　岩井谷	鉄滓	7
	J　32	岩井谷第２鈩	大字井原　岩井谷	鉄滓	7
	J　33	岩井谷第３鈩	大字井原　岩井谷	鉄滓	7
	J　34	城山鈩	大字井原　城山		7
	J　35	仏一原鈩	大字井原　仏一原	鉄滓	7
	J　36	小深山鈩	大字井原　小深山	鉄滓　金池らしきものあり	7
	J　37	沓撮鈩	大字日貫　沓撮	鉄滓	7
	J　38	青笹第１鈩	大字日貫　川原鈩所	鉄滓	7
	J　39	青笹第２鈩	大字日貫　川原鈩所	鉄滓　金池らしきものあり	7
	J　40	青笹第３鈩	大字日貫　鈩所	鉄滓	7
	J　41	福原鈩	大字日貫　福原	本書に調査報告あり	7
	J　42	鉄穴原鈩	大字日貫　鉄穴原	鉄滓　金池あり	7
	J　43	大元谷鈩	大字日貫　大元谷	鉄滓　金池あり	7
	J　44	横宇津鈩	大字日貫　鈩所	鉄滓　金池あり	7
	J　45	草井原鈩	大字日貫　鈩所	鉄滓	7
	J　46	楮ケ谷鈩	大字日貫　楮ケ谷	八戸川ダムにより水没	7
	J　47	聖畑鈩	大字日貫　吹先	鉄滓　金屋子神社	7
	J　48	久竹鈩	大字日貫　田代	鉄滓	7
	J　49	高尾瀬鈩	大字日貫　高尾瀬	鉄滓	7
	J　50	落合鈩	大字日貫　穂所	鉄滓	7
	J　51	松原鈩	大字日貫　鈩所	鉄滓　金屋子神社	7
	J　52	一ツ橋鈩	大字日貫　一ツ橋鈩所	鉄滓	7
	J　53	道平山鈩	大字日貫　道平穂所場	鉄滓	7

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
J　邑智郡石見町	J　54	日の城鈩	大字日貫日の城	鉄滓　金屋子神社	7
	J　55	室原第１鈩	大字日和室原	鉄滓	7
	J　56	室原第２鈩	大字日和室原	鉄滓	7
	J　57	今原鈩	大字日和今原	鉄滓	7
	J　58	滝の根鈩	大字日和滝の根後	鉄滓	7
	J　59	横舟鈩	大字日和横舟	鉄滓	7
	J　60	谷山鈩	大披日和谷山	鉄滓	7
K　江津市	K　1	高田鈩	波子町　高田	鉄滓を採取することができた	8
	K　2	大津鈩	敬川町　大津	水害のため遺物は採取できず	8
	K　3	元大前の西鈩	二宮町　神主　元大前邸	鉄滓	8
	K　4	大元の鈩	嘉久志町　新谷	鉄滓	8
	K　5	久保川口鈩	嘉久志町　久保川	鉄滓	8
	K　6	勝地鈩	金田町　勝地	鉄滓	8
	K　7	恵口鈩	川平町南川上　恵口	鉄滓	7
	K　8	清見山崎鈩	清見町	鉄滓	7
	K　9	徳の谷鈩	清見町　徳の谷	鉄滓	7
	K　10	値谷鈩	松川町下川戸　値谷	鉄滓	4
	K　11	番の木鈩	松川町長良　番の木	鉄滓	7
	K　12	下河戸鈩	松川町下川戸　鈩口	鉄滓	4
	K　13	二川鈩	波積町本郷　二川	金屋子神社	4
L　浜田市	L　1	有福鍛冶屋	下有福町 375　地名　鍛冶屋	鉄滓　宅地	8
	L　2	姉円鈩No. 1	大金町　姉金 449　地名　鈩	鉄滓　宅地	8
	L　3	姉金鈩No. 2	大金町　姉金 460　地名　鈩	鉄滓　田	8
	L　4	針金鍛冶屋	大金町　姉金 625　地名　鍛冶屋	宅地	8
	L　5	大津鈩	大金町　大津 460　地名　鈩谷	田	8
	L　6	荒相鈩群No. 1	大代町　荒相 830～831　地名 カナクソ	山	8
	L　7	荒相鈩No. 2	久代町　荒相 564　地名　カナクソ	山	8
	L　8	西山鈩群	久代町　荒相 573～578 956～961　地名　カナクソ	山	8
	L　9	宇野谷鈩	久代町　荒相 185　地名　カナクソ	宅地	8
	L　10	久代鈩群No. 1	久代町　久代 157～159　地名　鈩	田	8
	L　11	久代鈩No. 2	久代町　久代 1280　地名　鈩	山	8
	L　12	神原鈩群	久代町　久代 1281～1284　地名　鈩	山	8
	L　13	宇野割鈩	宇野町 1027 ～ 1030　カナクソハナ	鉄滓　田、畑	8
	L　14	宇野鈩	宇野町 1022	鉄滓　畑	8
	L　15	中曽根鍛冶屋	宇野町	鉄滓　畑	8

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
L　浜田市	L　16	長沢鈩	長沢町756　地名　鈩	宅地	8
	L　17	千谷鈩	宇井町664、972、973　地名　鈩原	山	8
	L　18	宇津井鍛冶屋	宇井町423　地名　鍛冶屋	山	8
	L　19	後野鍛冶屋	後野町775　地名　鍛冶屋	畑	8
	L　20	火柱鈩	長見町935　地名　大桂	川	11
	L　21	柳木谷鈩	長見町417	田、古文書	8
	L　22	唐金山鈩	長見町	山	8
	L　23	大平鈩	長見町554	田、古文書	8
	L　24	大長見鈩	長見町1043　地名　古鈩		11
	L　25	大平鍛冶屋	長見町555	畑、古文書	8
	L　26	長見鍛冶屋	長見町755　地名　鍛冶屋		8
	L　27	1の瀬鈩No.1	鍋石町504　地名　鈩床	田	11
	L　28	1の瀬鈩No.2	鍋石町	鉄滓　金尾子神社、古文書	11
	L　29	1の瀬鈩No.3	鍋石町	鉄滓　墓の下	11
	L　30	1の瀬鈩No.4	鍋石町	田　オチクボ	11
	L　31	鍋石鍛冶屋	鍋石町505　地名　鍛冶屋	山	11
	L　32	櫟田原鍛冶屋	櫟田原村355　地名　金冶屋	畑	11
	L　33	田橋鍛冶屋	田橋町440　地名　金冶屋	宅地	11
	L　34	横山鈩	横山町297	鉄滓　宅地	11
	L　35	青野鈩	西村町414　地名　鈩	田	8
	L　36	大谷鈩	西村町480　地名　鈩	宅地	11
	L　37	西村鈩	西村町2011　地名　鈩	宅地	11
	L　38	大谷鍛冶屋No.1	西村町1736　地名　鍛冶屋	山	11
	L　39	大谷鍛冶屋No.2	西村町1737　地名　鍛冶屋	山	8
	L　40	大谷鍛冶屋No.3	西村町1738　地名　鍛冶屋	山	8
	L　41	大谷鍛冶屋No.4	西村町1739　地名　鍛冶屋	山	8
	L　42	青野鍛冶屋	西村町415　地名　鍛冶屋	宅地	8
M　那賀郡旭町	M　1	坂本奥鈩	木田　木田　坂本奥		7
	M　2	下土居鍛冶屋	木田　山内上		7
	M　3	小池鍛冶屋	本郷　下本郷		7
	M　4	今川Ⅰ鈩	本郷　今川　鈩床		7
	M　5	今川Ⅱ鈩	本郷　今川		7
	M　6	赤瀬鈩	本郷　赤瀬		7
	M　7	大槇垰鈩	本郷　上本郷		7
	M　8	大賀鍛冶屋	都川　栃谷		7
	M　9	夏川鍛冶屋	都川　石畳		7

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
M　那賀郡旭町	M　10	吉川鍛冶屋	都川　石畳		7
	M　11	奥の谷鈩	都川　石畳		7
	M　12	四百谷鈩	市木　四百谷		7
	M　13	大原鈩	市木　大原		7
	M　14	新所Ⅱ鈩	市木　新所		7
	M　15	新所Ⅰ鈩	市木　新所		7
	M　16	ホトコロ鈩	市木　押入		7
	M　17	早水Ⅱ鈩	市木　早水		10
	M　18	早水Ⅰ鈩	市木　早水		10
	M　19	大石谷下の鈩	市木　大石谷		10
	M　20	大石谷中の鈩	市木　大石谷		10
	M　21	大石谷上の鈩	市木　大石谷		10
	M　22	岩屋谷鈩	市木　来尾　岩屋谷		10
	M　23	下つ谷鍛冶屋	市木　来尾　下つ谷		10
	M　24	下つ谷鈩	市木　来尾　下つ谷		10
	M　25	京良原鍛冶屋	市木　来尾　京良原		10
	M　26	戸地谷垰鉄穴溝	重富　戸地谷		7
	M　27	柏原谷鉄穴溝	重富　柏尾谷		7
	M　28	梅の木鈩	都川　梅ノ木谷		10
	M　29	神代屋谷鈩	今市　神代屋谷		7
	M　30	森谷鈩	今市　森谷		7
	M　31	日ノ原鍛冶屋	都川　都川　日ノ原		10
	M　32	日ノ原鈩	都川　都川　日ノ原		10
	M　33	谷下鈩	都川　谷下		10
	M　34	政ケ谷鈩	都川　谷上　政ケ谷		10
	M　35	雲月鈩	坂本　雲月		10
N　那賀郡金城町	N　1	福原鈩	追原　福原		8
	N　2	乙明鈩	追原　入野乙明鈩ケ迫		8
	N　3	大元鈩	追原　大元　新鈩中ノ釜		7
	N　4	美又鈩	追原　美又　39－1		8
	N　5	藤ケ瑢鈩	七条　藤ケ瑢		8
	N　6	吉留鈩	下来原　吉留鈩ケ迫		8
	N　7	青原鈩	下来原　青原		8
	N　8	上来原鈩	上来原		11
	N　9	高良鈩	久佐　小原谷		8
	N　10	小原谷鉄穴	久佐　小原谷		8

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
N　那賀郡金城町	N　11	白甲Ⅰ鈩	久佐　宇栗		8
	N　12	白甲Ⅱ鈩	久佐　宇栗		8
	N　13	宇栗鈩	久佐　宇栗		8
	N　14	坂根Ⅰ鈩	小国　柚根		11
	N　15	宇栗道鈩	小国　柚根		11
	N　16	坂根Ⅱ鈩	小国　柚根		11
	N　17	作見谷鉄穴	小国　柚根　作見谷		11
	N　18	洗庭鉄穴	小国　柚根金町谷		11
	N　19	桐之木鉄穴	小国　柚根金町谷		11
	N　20	小屋ケ谷鈩	小国　柚根　小屋ケ谷		11
	N　21	二子山鉄穴	小国　二子山		11
	N　22	大利鍛冶屋	小国　田野原		11
	N　23	田野原鈩	小国　田野原		11
	N　24	犬戻り鈩	小国		11
	N　25	長沢鈩	波佐　後山　長沢		11
	N　26	桂迫鈩	波佐　菅沢		11
	N　27	黒瀬鈩	波佐　黒瀬		11
	N　28	小松木鉄穴	波佐　小松木		11
	N　29	槇ケ曽根鈩	波佐　槇ケ曽根		11
	N　30	大潰鉄穴	長田　登谷　岩ケ原		11
	N　31	牓示鈩	長田　鍛冶屋床		11
	N　32	トヤゴウ鉄穴	長田　登谷　トヤゴウ		11
	N　33	表谷鉄穴	長田　大井谷　表谷		11
	N　34	表谷鈩	長田　大井谷		11
	N　35	丸迫鉄穴	長田　郷　丸迫谷		11
	N　36	うのや鈩	波佐　亀谷原		11
	N　37	栃下Ⅲ鈩	波佐　坂下		11
	N　38	栃下Ⅱ鈩	波佐　坂下		11
	N　39	栃下Ⅰ鈩	波佐　坂下		11
	N　40	栃下鍛冶屋	波佐　坂下		11
	N　41	宇谷鈩	波佐　宇谷		11
	N　42	ウナギ渕鈩	波佐　ウナギ渕		11
	N　43	来ル実鈩	波佐　来ル実		11
	N　44	飯ノ山鈩	波佐　飯ノ山		11
	N　45	打尾谷鈩	波佐　打尾谷		11
	N　46	鍋滝Ⅱ鈩	波佐　鍋滝		11
	N　47	鍋滝Ⅲ鈩	波佐　鍋滝　泊小屋		11

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
N　那賀郡金城町	N　48	泊小屋鉄穴	波佐　鍋滝　泊小屋		11
	N　49	鍋滝Ⅰ鈩	波佐　鍋滝		11
O　那賀郡弥栄村	O　1	畑鈩	栃木　畑	鉄滓　宅地	11
	O　2	青尾鈩	門田　猪遊	湖底　古文書	11
	O　3	高源鈩	門田　高源	湖底　古文書	11
	O　4	明比谷鈩	門田　明比谷	湖底　古文書	11
	O　5	大井谷鈩	栃木　大井谷	鉄滓　山	11
	O　6	梨ケ谷No.1	小角　梨ケ谷	山　古文書	11
	O　7	梨ケ谷No.2	小角	山　古文書	11
	O　8	大橋鈩	大坪	湖底　古文書	11
	O　9	道園防鈩	熊の山	田　古文書	11
	O　10	程原鍛冶屋	程原	山　古文書	11
	O　11	猪遊鈩	門田　猪遊	山	11
P　那賀郡三隅町	P　1	周布地鍛冶屋	井野町　周布地14	地名　鍛冶屋　田 古文書　鉄滓	11
	P　2	石佛鈩	井野町　大谷	古文書	11
	P　3	大口鈩	井野町　殿浦内　大口	古文書　鉄滓	11
	P　4	溝子鈩	井野町　小原	古文書　鉄滓	11
	P　5	室谷鈩	室谷町　室谷	鉄滓	11
	P　6	平原鈩	折居町　平原	地名鈩	12
	P　7	叶谷鈩	黒沢町　叶谷		11
	P　8	井手山鈩	河内町　九ソウ原	古文書	12
	P　9	鹿子谷鈩	河内町　鹿子谷	古文書	12
	P　10	竜ケ谷鈩	三隅町　1655	地名　鈩谷　古文書	12
	P　11	中山鈩	岡見町　中山	地名　鈩　昭和57年調査	12
Q　益田市	Q　1	金山下鈩	金山町　金山下字鈩	58年7月水害による河川崩壊のため、そのセクションが確認された。	12
	Q　2	上の谷鈩	土田町　上の谷	鉄滓	12
	Q　3	千振下鈩	種村町　千振字千振下	鉄滓	12
	Q　4	大石鈩	木部町　釜口字大石	鉄滓	12
	Q　5	滝の上鈩	木部町　汐満字滝の上	鉄滓、炭	12
	Q　6	紺屋敷鈩	赤雁町　紺屋敷	鉄滓	12
	Q　7	かんば鈩	赤雁町　かんば		12
	Q　8	茂直溢鈩	久々茂町　上久々茂字茂直溢	鉄滓	15
	Q　9	たたら床鈩	大谷町　豊川字鈩床	鉄滓	15
	Q　10	たたら床鈩	大谷町　大谷温泉	鉄滓	15

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
Q　益田市	Q　11	金くそ原鈩	岩倉町　岩倉上　金くそ原		15
	Q　12	金ケ峠鈩	桂ケ平町　金ケ峠	鉄滓　多量	16
R　美濃郡美都町	R　1	掛所鈩	大字仙道字小原郷　掛所　勘場床		12
	R　2	北ケ溢鈩	大字小原字熊子　北ケ溢	鉄滓、炉壁片	12
	R　3	新宅溢鈩	大字三谷字八坂　新宅溢　栃木	鉄滓、寺戸清六宅にヅクあり	12
	R　4	金ケ崎鈩	大字山本字葛竜　金ケ崎		15
	R　5	火の迫鈩	大字山本字葛竜　火の迫		15
	R 5-1	金屋敷鈩	大字山本字葛竜　金尾敷		15
	R　6	悪谷鈩	大字山本字葛竜　悪谷		15
	R　7	深折鈩	大字山本字深折		15
	R　8	化粧谷鈩	大字山本字化粧谷		15
	R　9	吹屋床鈩	大字山本字空山　吹屋床		15
	R　10	鍛冶屋敷鈩	大字都茂字大鳥　鍛冶屋敷		14
	R　11	大切鈩	大字都茂字大鳥　大切		14
	R　12	表屋鈩	大字都茂字大鳥　表屋		14
	R12-1	床屋溢鈩	大字都茂字大鳥　床屋溢	鉄滓	14
	R　13	勝地鈩	大字都茂字大鳥　勝地		14
	R　14	田代鈩	大字都茂字大鳥　田代　鈩原		14
	R　15	鈩原鈩	大字都茂字葛根敷　鈩原		14
	R　16	赤松谷上鈩	大字都茂字内石　赤松谷上		14
	R　17	鈩床鈩	大字久原字笠　鈩床		12
	R　18	馬頭鈩	大字九茂字馬頭		11
	R　19	鍛冶平鈩	大字宇津川字養老谷　鍛冶平		11
	R　20	曲溢鈩	大字宇津川字大鳥　曲溢		14
	R　21	ジャレ鈩	大字宇津川字長橋　ジャレ		11
	R　22	森平鈩	大字板井川字郷組　森平		11
	R　23	腰ケ峠鈩	大字板井川字若杉　腰ケ峠		11
S　美濃郡匹見町	S　1	鈩床鈩	大字澄川字熊ノ谷　鈩床		15
	S　2	丸渕鈩	大字澄川字能登　丸渕	鉄滓	15
	S　3	火ノ口鈩	大字澄川字能登　火ノ口		15
	S　4	松ケ谷鈩	大字広瀬字切梨山　松ケ谷		15
	S　5	千原黒落鈩	大字落合字千原黒落		14
	S　6	中上鍛冶屋敷鈩	大字石谷字内石　中上鍛冶屋敷		15
	S　7	金山鈩	大字石谷字内石　金山		15
	S　8	吹屋床鈩	大字石谷字内石　吹屋床　鍛冶屋町		15

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
S　美濃郡匹見町	S　9	屋敷田鈩	大字石谷子内石　屋敷田		15
	S　10	澄ケ平鈩	大字落合字戸村尻　澄ケ平		15
	S　11	鈩原鈩No.1	大字落合字大蔦木　鈩原		14
	S　12	鈩原鈩No.2	大字落合字蔦木迫田谷　鈩原		14
	S　13	一の谷鈩	大字落合字矢尾下　一の谷		14
	S　14	二の谷口鈩	大字落合字矢尾下　二の谷口		14
	S　15	二の谷丸山上鈩	大字落合字矢尾下　二の谷丸子山上		14
	S　16	勘場床鈩	大字落合字矢尾中　勘場床		14
	S　17	大刈谷鈩	大字落合字矢尾上　大刈谷		14
	S　18	小郷谷口鈩	大字匹見字保矢ケ原　小郷谷口	鉄滓、炉壁片	14
	S　19	大河鈩	大字匹見字保矢ケ原　大河鈩		14
	S　20	焼ケ谷鈩	大字匹見字赤谷　焼ケ谷		14
	S　21	亀ケ谷鈩	大字匹見字保矢ケ原　亀ケ谷		14
	S　22	河崎原鈩	大字匹見字広見下　河崎原		14
	S　23	泓鈩	大字匹見字広見下　泓		14
	S　24	鍛冶屋敷鈩	大字匹見字広見　鍛冶屋敷		14
	S　25	禿ノ谷鈩	大字匹見字広見奥下　禿ノ谷		14
	S　26	打道鈩	大字匹見字大虫　打道		14
	S　27	鈩原鈩	大字匹見字都合谷　鈩原		14
	S　28	ヌクイ鈩	大字匹見字片平山　ヌクイ		14
	S　29	本谷筋分レ鈩	大字紙祖字ハビ山　本谷筋分レ	鉄滓、炉壁片、陶磁器	15
	S　30	十郎屋敷鈩	大字紙祖字七村　十郎屋敷	鉄滓、金池あり	15
	S　31	勘場床鈩	大字紙祖字七村　勘場床		15
	S　32	鍛冶屋敷鈩	大字紙祖字七村　ゴウレイ　鍛冶屋敷		15
	S　33	与兵工窯鈩	大字紙祖字七村　与兵工窯	鉄滓	15
	S　34	悪谷鈩	大字紙祖字七村　悪谷		15
	S　35	タタルトコ鈩	大字紙祖字加冷　タタルトコ		18
	S　36	鍛冶屋谷鈩	大字紙祖字加冷　鍛冶屋谷		15
	S　37	リョウリョク谷鈩	大字紙祖字三坂　リョウリョク谷		17
	S　38	鍛冶屋谷鈩	大字道川字山ノ谷　鍛冶屋谷		14
	S　39	浜子鈩	大字道川字下道川田屋原　浜子		14
	S　40	森元鍛冶屋床鈩	大字道川字下道川押ケ峠　森元鍛冶屋床		14
	S　41	鍛冶町鈩	大字道川字下道川田屋原　鍛冶町		14
	S　42	炭田鈩	大字道川字下道川崖　炭田		14
	S　43	鈩原鈩	大字道川字下道川丈次郎谷　鈩原		14
	S　44	鈩原鈩	大字道川字下道川荒谷　鈩原		14
	S44-1	クロダキ鈩	大字道川字下道川亀井谷　クロダキ		14

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
S　美濃郡匹見町	S44-2	鍛冶屋谷鈩	大字道川字下道川猟師谷　鍛冶屋谷		14
	S　45	森ケ谷鈩	大字道川字下道川田ノ原　森ケ谷		14
	S　46	鍛冶屋床鈩	大字道川字出合原　鍛冶屋床		14
	S　47	鍛冶屋原鈩	大字道川字元組一の谷　鍛冶屋原	鉄滓　金屋子神社	14
	S　48	田平吹屋１段鈩	大字道川字元組二の谷　田平吹屋ノ段		14
	S　49	大谷鈩	大字道川字元組三の谷　大谷		14
	S　50	上仏原鈩	大字道川字元組　上仏原		14
	S　51	下臼木谷鈩	大字道川字臼木谷　下臼木谷		14
	S　52	茗荷谷鈩	大字道川字臼木谷　茗荷谷		14
	S　53	藤丸郎鍛冶屋鈩	大字道川字臼木谷　藤九郎鍛冶屋		14
	S　54	マカメ谷鈩	大字道川字臼木谷　マカメ谷		14
	S　55	平佐谷鍛冶屋原鈩	大字道川字臼木谷　平佐谷鍛冶屋原		14
	S　56	桑ノ木原鈩	大字道川字臼木谷　桑ノ木原		14
	S　57	カナクソマチ鈩	大字道川字臼木谷　カナクソマチ		11
	S　58	本谷鈩	大字道川字臼木谷　本谷	町指定『石見匹見町史』	11
	S　59	タキガサコ鈩	大字道川字臼木谷　タキガサコ		11
	S　60	鍛冶屋原鈩	大字道川字古椀山　鍛冶屋原		14
	S　61	鍛冶屋町鈩	大字道川字鱒渕　鍛冶屋町	付近に墓あり	14
	S　62	鍛冶屋谷鈩	大字道川字芦谷　鍛冶屋谷		14
	S　63	芽木屋（鍛冶屋）鈩	大字道川字赤谷下　芽木屋　鍛冶屋		14
	S　64	地美台鈩	大字道川字赤谷下　地美台		14
	S　65	鈩原鈩	大字道川字赤谷上　鈩原		11
	S　66	杉山鈩原鈩	大字道川字赤谷上　杉山鈩原		11
	S　67	シモヌクイ鈩	大字道川字生山　シモヌクイ		11
	S　68	カミヌクイ鈩	大字道川字生山　カミヌクイ		11
	S　69	平神古鈩	大字道川字芋原　平神古鈩		11
	S　70	仏谷カジン原鈩	大字道川字芋原　仏谷カジン原		11
	S　71	矢玄地鍛冶屋鈩	大字道川字芋原　矢玄地鍛冶屋		11
T　鹿足郡日原町	T　1	高令鈩	大字左鐙　奥谷　鍛冶屋床	『日原町史』	18
	T　2	横道鈩	大字左鐙　上横道　鍛冶屋床	鉄滓	18
	T　3	福谷鈩	大字左鐙　福谷　中屋敷	鉄滓多量	18
	T　4	猪退谷鈩	大字左鐙　下横道　鍛冶屋谷尻	『日原町史』	18
	T　5	中内谷鈩	大字左鐙　下横道　カンバ床	鉄滓　『日原町史』	18
	T　6	新畑鈩	大字左鐙　新畑　カンバ床	『日原町史』	18
	T　7	どるぶち鈩	大字左鐙　一ノ谷　どるぶち	『石見日原村聞書』	18
	T　8	上ケ原鈩	大字左鐙　左鐙　フキヤトコ	『日原町史』	18

市町村名	番号	名称	所在地	備考	地図番号
T　鹿足郡日原町	T　9	竜谷鈩	大字左鐙　左鐙　大魚山南	鉄滓　付近に墓あり	18
	T　10	成日照鈩	大字左鐙　畳　フキヤ床	『日原町史』 付近に墓あり	15
	T　11	下左鐙鈩	大字須川　下佐鐙　フキヤ床	鉄滓	15
	T　12	出合鈩	大字相撲ケ原　相撲ケ原下　鈩	『石見日原村聞書』	15
	T　13	赤石鈩	大字相撲ケ原　赤石　鈩床	鉄滓　『日原町誌』	15
U　鹿足郡六日市町	U　1	折元鈩	大字高尻字折元		18
	U　2	吹ケ原鈩	大字高尻字吹ケ原	鉄滓　野鈩	18
	U　3	西ケ谷鈩	大字高尻字西ケ原	『吉賀記』	18
	U　4	大谷山鈩	大字高尻字大谷山	鉄滓　金池　付近に墓地	18
	U　5	カツバミ鈩	大字高尻字カツバミ	『吉賀記』	18
	U　6	牛女谷鈩	大字高尻字牛女谷	『吉賀記』	18
	U　7	スリヤ鈩	大字高尻字スリヤ	『吉賀記』	18
	U　8	幅井谷	大字七日市字幅井谷	『吉賀記』	18
	U　9	河内鈩	大字抜月字河内	鉄滓　金屋子神社跡墓地	18
V　鹿足郡柿木村	V　1	細尾谷鈩	大字木部谷字細尾谷		18
	V　2	久領谷鈩	大字木部谷字久領谷		18
	V　3	摺屋谷鈩	大字木部谷字摺屋谷		18
	V　4	黒瀬山鍛冶屋	大字柿木字黒瀬山		18
	V　5	柿木長崎鈩	大字柿木字長崎山	鉄滓	18
	V　6	福川長崎鈩	大字福川字長崎山	鉄滓	18
	V　7	繁山鈩	大字椛谷字繁山		18
	V　8	田口山鈩	大字椛谷字田口山		18
	V　9	森田溢鈩	大字椛谷字古江堂森田溢		18

邑智郡内鈩関係文書

尼　川　尚　明

(1)　瑞穂町上田所藤田家文書

番　号	西　暦（年号）	月	表　　題（文書名）	内　　容
1	1236（文暦 3 年）		鈩始め、及代々鈩経営	立岩鈩吹　藤田氏代々鈩
2	1661（寛文元年）		川本町三上家　土井原鈩の代々	三上重三郎経営と変遷

(2)　瑞穂田所槇ケ原諏訪家文書

3	1779（安永 8 年）	1　月	年々萬覚書　諏訪利左ヱ門	青松鈩　若杉鈩　枯木鈩　知河原鈩　野原鈩　合戦鈩
4	1787（天明 7 年）	6　月	内ケ原飯冶屋定書　京面友之助	
			槇原利左ヱ門　佐々田十助宛	鈩籠りの夫賃其他内容
5	1787（天明 7 年）	11　月	鈩吹鉄報告　釼役所	
6	1788（天明 8 年）	9　月	可部南原屋へ鉄請合状	
7	仝　　上	12　月	鈩運上納状５鈩	
8	1789（天明 9 年）	1　月	仝　上　３鈩	
9	仝　　上	仝　上	仝　上　合戦鈩	
10			仝　上　２鈩	
11	1676（延宝 4 年）	8　月	押入鈩山境取替申一札事	矢上金田と四百谷百姓
12	1748（寛延元年）	10　月	押入鈩山境　円板四郎右ヱ門	仝上金田と四百谷孫右ヱ門
13	1793（寛政 5 年）	12　月	押入鈩山永代売渡申	槇ケ原利左ヱ門より京面宗九郎
14	1845（弘化 2 年）	正　月	押入鈩山 鳥兎鈩山　掛ケ申証文	今田屋俊三郎より小掛屋要助
15	1789（寛政元年）	10　月	鳥兎鈩山永代売渡証文	亀屋嘉左ヱ門より京面とみの
16	1833（天保 4 年）	3　月	芦谷鈩山売渡証文	京面勝之助より今田屋俊三郎
17	1834（天保 5 年）	10　月	進申誤り一札の事	中組吉松より中屋嘉右ヱ門
18	1844（天保15年）	8　月	滝ケ谷鈩山掛約定願	今田屋清六と矢上周右ヱ門
19	1781（天明元年）	7　月	滝ケ谷鈩山掛証文	市木静間屋要助より佛市七右ヱ門
20	1846（弘化 3 年）	9　月	滝ケ谷鈩山掛ケ証文	矢上祝右ヱ門へ市木清六
21	1826（文政 9 年）	1　月	鈩山掛ケ証文	矢上須ケ迫伝右ヱ門より市木村鎌田屋惣兵衛
22	1768（明和 5 年）	11　月	芦谷鈩山売渡証文	浜田八百屋治兵衛より矢上村勘治郎へ
23	1861（文久元年）	3　月	薩摩へ鉄売契約	池伝右ヱ門へ請書三宅利三郎
24	仝　　上	9　月	覚書銑千駄売り契約	薩州池伝右ヱ門へ三宅利三郎
25	1864（文久 4 年）	1　月	薩州鉄売り契約	薩州浜田平右ヱ門池田伝兵衛へ三宅利三郎
26	1850～1854（嘉永３年午より７年寅）	3　月	鈩 160 籠り書抜帳鳥兎鈩	三宅利三郎
27	仝　　上	12　月	運上銀納入大野鈩	経営者三宅要助より鈩役所
28	1853（嘉永 6 年）	7　月	大野鈩買請願鈩役所へ	加計留四郎より矢上三宅要助
29	1861（文久元年酉）	3　月	畳山鈩山論口状	矢上三宅利三郎と市木酒井四郎兵衛割元、口
30	1788（天明 8 年）	5　月	大桧鈩山桐原六兵衛より	槇ケ原利左ヱ門へ掛り受
31	1782（天明 2 年）	6　月	鉄座廃止嘆願	槇ケ原利三郎より
32	1785（天明 5 年）	11　月	鈩役所より借入　槇ケ原利三郎	枯木鈩知河原両鈩吹
33	1784（天明 4 年）	9　月	仝　上　　〃	仝　上

番　号	西　暦（年号）	月	表　　題（文書名）	内　　容
34	1786（天明6年）	1　月	大阪為替銀に関する件	槇ケ原利左衛門
35	仝　　上	2　月	借用銀、可部南原屋より	槇ケ原利左衛門
36	1787（天明7年）	2　月	鈩譲り渡し願　鈩役所	諏訪利左衛門より
37	仝　　上	2　月	鈩代前借仕銀札事鈩役所	諏訪利左衛門より野原鈩　合戦鈩
38	仝　　上	2　月	仝　上	仝　上
39	仝　　上	2　月	鈩山売渡証文　押入鈩	諏訪利左衛門より京面友之助へ
40	仝　　上	9　月	永代売渡申鉄穴山鉄穴水川池	諏訪利左衛門より京面友之助
41	1779（安永8年）	10　月	沓掛越小鉄願　鈩役所へ	市木畳鈩重蔵外5名
42	1780（安永9年）	2　月	沓掛山越小鉄願　小田万兵衛	仝　上
43	1787（天明7年）	6　月	鈩内容報告　鈩役所へ	諏訪利左衛門
44	仝　　上	8　月	差上奉る一札の事　鈩役所へ	仝　上　　外5名
45	仝　　上	11　月	内ケ原鍛冶屋定め書	京面友之助より佐々田十助へ
46	仝　　上	11　月	拝借銀願書札方役所へ	諏訪利左衛門
47	仝　　上	12　月	御恩借仕銀の事　鈩役所へ	仝　上
48	仝　　上	12　月	御恩借仕る銀の事　鈩役所	仝　上
49	仝　　上	12　月	借用仕銀札事　鈩方役所	仝　上
50	仝　　上	仝　上	仝　上	仝　上
51	仝　　上	仝　上	仝　上	仝　上
52	仝　　上	1　月	運上銀納書　鈩方役所	諏訪利左衛門　野原鈩　合戦鈩
53	1788（天明8年）	2　月	仝　上　　鈩役所	仝　上
54	仝　　上	7　月	御恩借仕銀札事　鈩役所	仝　上
55	仝　　上	9　月	可部河原屋へ荷物請合状	諏訪利左衛門　大草鈩
56	仝　　上	12　月	鈩運上銀納入書鈩役所	仝　上　　合戦鈩
57	仝　　上	12　月	仝　上	仝　上　　大桧鈩
58	仝　　上		仝　上	仝　上　　野原鈩
			仝　上	仝　上　　合戦鈩
59	仝　　上	12　月	鈩運上　鈩役所	鈩鍛冶屋拝借
60	仝　　上	5　月	鈩山掛証文　槇原利左エ門	都屋次郎右エ門桐原六兵エ
61	1789（天明9年）	2　月	銑値段表	諏訪利左衛門
62	1789（寛政元年）	3　月	鈩吹仕舞　野原鈩	仝　上
63	仝　　上	4　月	鍛冶屋拝借	仝　上
64	仝　　上	4　月	鈩運上　合戦鈩大桧鈩	仝　上
65	仝　　上	3　月	鈩拝借　岩井谷鈩	仝　上　　鹿賀與兵衛
66	仝　　上	6　月	拝借仕銀札事　鈩役所	仝　上
67	仝　　上	6　月	拝借仕銀札事　市木役所	市木古屋喜三太
68	仝　　上	7　月	鈩起願　口細鈩	諏訪利左衛門
69	仝　　上	10　月	鈩吹駄別改	合戦鈩　野原鈩　大桧鈩

番　号	西　暦（年号）	月	表　　題（文書名）	内　　容
70	仝　　上	11　月	鈩吹仕舞届	諏訪利左衛門
71	仝　　上	11　月	口入銀借用願	仝　上
72	仝　　上	12　月	鈩鍛冶屋拝借	仝　上
73	仝　　上	12　月	鈩運上納	仝　上　　大桧鈩　口細鈩
74	仝　　上	12　月	鈩借用銀の事	仝　上
75	仝　　上	12　月	鈩借用口入銀	仝　上　　仝　上
76	仝　　上	12　月	大桧鈩吹仕舞届	仝　上　　仝　上
77	1790（寛政 2 年）	3　月	鈩運上銀納	仝　上　　口細鈩　大桧鈩　玉田鈩
78		6　月	鈩運上納	仝　上　　五田鈩　高水鈩　口細鈩
79		11　月	鈩運上　合戦鈩鋤役所	仝　上
80	仝　　上	11　月	鈩運上　口細鈩　大桧鈩　玉田鈩	仝　上
81	仝　　上	12　月	拝借銀　鋤役所	仝　上
82	1790（寛政 2 年）	12　月	口入銀拝借　鋤役所	仝　上
83	仝　　上	仝　上	鈩拝借　鋤役所	仝　上
84	仝　　上	仝　上	鈩運上　五田鈩 口細鈩　鋤役所	仝　上
85	1791（寛政 3 年）	3　月	仝　上　口細鈩 大桧鈩　仝　上	仝　上
86	仝　　上	5　月	拝借の事　　仝　上	仝　上
87	仝　　上	5　月	鈩運上納　玉田鈩 口納鈩　仝　上	仝　上
88	仝　　上	6　月	拝借の事　　仝　上	仝　上
89	仝　　上	6　月	拝借の事　　仝　上	仝　上
90	仝　　上	7　月	五田鈩吹仕舞届　　仝　上	仝　上
91	仝　　上	7　月	鈩拝借銀の事　鋤役所	仝　上
92	仝　　上	9　月	鈩運上　小桧鈩 口細鈩　鋤役所	仝　上
93	仝　　上	12　月	鈩運上　五田鈩　小桧鈩 口細鈩　鋤役所	仝　上
94	1792（寛政 4 年）	2　月	鈩運上　口細 小桧　鋤役所	仝　上
95	仝　　上	6　月	仝　上　口細 小桧　仝　上	仝　上
96	仝　　上	10　月	仝　上	仝　上
97	仝　　上	10　月	鈩方駄別改　かど谷鈩 芳ケ谷鈩	仝　上
			口細鈩 宝祖原鈩	仝　上
			大草鈩 小桧鈩	仝　上
			同形鈩 大野鈩	仝　上
98	仝　　上	12　月	鈩運上　口細鈩 小桧鈩　鋤役所	仝　上
99	1793（寛政 5 年）	5　月	鈩運上　深渡瀬鈩 小桧鈩　鋤役所	仝　上
100	仝　　上	12　月	鈩拝借願　鋤役所	仝　上
101	仝　　上	12　月	鈩起し願　仝　上	仝　上　　芦谷鈩
102	仝　　上	12　月	左下市之助免状願　諸国荷主	槇ケ原鍛冶屋へ蔵〆支配人
103	仝　　上	12　月	左手子助五郎免状願　仝　上	槇ケ原鍛冶支配人蔵

番　号	西　暦（年号）	月	表　　題（万書名）	内　　容
104	仝　　上	12　月	左手子和三郎免状願　諸国荷主	槇ケ原鍛冶支配人蔵
105	1794（寛政 6 年）	2　月	三阪奥山伐銀渡し覚　鈩役所	諏訪利左衛門
106	仝　　上	5　月	小割かじや願　芦谷鈩添　鈩役所	仝　上
107	仝　　上	5　月	鈩運上納　田ノ迫鈩　芦谷鈩	仝　上
108	仝　　上	9　月	鈩運上納　芦谷鈩　田ノ迫鈩	仝　上
109	1794（寛政 6 年）	10　月	鈩運上納　深瀬鈩　芦谷鈩 小桧鈩	仝　上
110	1791（寛政 3 年）	11　月	鈩借用銀　鈩役所	仝　上
111	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
112	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
113	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
114	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
115	仝　　上	2　月	鍛冶屋道具　預古屋へ	仝　上
116	1792（寛政 4 年）	11　月	拝借銀　鈩役所	仝　上
117	仝　　上	11　月	仝　　上	仝　上
118	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
119	仝　　上	11　月	仝　　上	仝　上
120	仝　　上	11　月	仝　　上	仝　上
121	仝　　上	11　月	仝　　上	仝　上
122	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
123	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
124	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
125	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
126	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
127	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
128	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
129	1793（寛政 5 年）	1　月	仝　　上	仝　上
130	仝　　上	11　月	仝　　上	仝　上
131	仝　　上	12　月	仝　　上	仝　上
132	1794（寛政 6 年）	1　月	仝　　上	仝　上
133	1838（天保 9 年）	4　月	釘鉄 21 丸　芸州中山吉兵衛	仝　上
134	1840（天保 11 年）	8　月	銑売羽書　土居原鈩　権右エ門	槇ケ原利左エ門
135	仝　　上	4　月	仝　　上	諏訪利左衛門
136	1842（天保 13 年）	11　月	鈩鑑札ノ事　銀山役所	仝　上
137	仝　　上	12　月	矢上より買小鉄越小鉄	槇ケ原多郎右衛門
138	仝　　上	11　月	大桧鈩買鉄	仝　上
139	1841（天保 12 年）	12　月	矢上小割鉄現鉄預り一札　加計八右エ門	仝　上

番　号	西　暦（年号）	月	表　　題（文書名）	内　　容
140	仝　　上	6　月	針金鍛冶屋願候　銀山役所	諏訪多郎右エ門
141	仝　　上	6　月	三阪小割鍛冶屋運上	
142	仝　　上	6　月	中野村小鉄受取り	
143	仝　　上	8　月	越鉄砂請取　小林四郎右エ門	諏訪多郎右エ門
144	仝　　上	8　月	滝ケ谷山毛上買取り	仝　上
145	仝　　上	8　月	銀山領鈩師　三上重三郎	仝　上
			南佐木佐左エ門　浜原幾六	才坂茂太郎　静間浅右エ門
			温泉津忠太　都賀権右エ門	波根喜左エ門　川本十平次
			刺鹿孫六　畑田源十郎	多根吉右エ門　宅野政五郎

(3)　稲積家文書

146	1718（享保 3 年）	4　月	鈩　井原野原勝茂	岩井鈩　重右エ門
147	仝　　上	10　月	野原鈩　百姓草山	野原鈩　野原重右エ門
148	1837（天保 8 年）	11　月	野原鈩山と地下百姓誤り	野原雄右エ門
149	1838（天保 9 年）	4　月	野原鈩地下百姓の伐り入	仝　上
150	仝　　上	3　月	山懸り議定書	
151	1821（文政 4 年）	11　月	野原より山懸け返答	垰田次郎兵衛へ
152	1680（延宝 8 年）	8　月	野原鈩山刈草出入	野原助右エ門
153	1832（天保 3 年）	11　月	鳥ケ池鈩売　五日市八良兵エ	高羽次郎兵衛
154	1691（元禄 4 年）	12　月	獺越鈩毛土鈩売中祖	垰田助右エ門
155	1695（元禄 8 年）	7　月	岩井谷鈩売高見政所平九郎	日和弥作左エ門
156	1697（元禄10年）	11　月	後友鈩　緩木鈩　売四ツ土居	垰田重右エ門
157	1700（元禄13年）	2　月	菅ノ谷青松鈩売	野原徳右エ門より代官へ願
158	仝　　上	12　月	野原二ノ垰鈩売	野原徳右エ門より小原ノ庄七郎へ
159	1702（元禄15年）	12　月	野原鈩山	小原庄七郎より高羽治郎右エ門へ
160	1720（享保 5 年）	10　月	青松菅谷鈩売	大田八右エ門より垰田助右エ門へ
			二ノ垰三垰鈩売	
161	1725（享保10年）	7　月	長崎鈩山売渡	太田八右エ門より垰田助右エ門へ
162	1731（享保16年）	8　月	菅ノ谷鈩山売	垰田太郎兵エより高羽屋治兵衛へ
163	1743（寛保 3 年）	11　月	鳥ケ池鈩山	高羽次郎兵衛　垰田太郎兵衛へ
164	1743（寛保 3 年）	11　月	葛葉鈩鑪越鈩売り	高羽次郎兵エより垰田太郎兵エ
165	1748（延享5年辰）	3　月	緩木鈩売り	四士居理エ門　垰田多郎兵エへ
166	1759（宝暦 9 年）	7　月	菅ノ谷鈩起し	垰田和左エ門
167	1763（宝暦13年）	7　月	獺越鈩山	垰田和左エ門より藩庁へ
168	1764（宝暦14年）	3　月	小割鍛冶願	井原村金太より
169	1765（明和 2 年）	12　月	鳥兎鈩山	市木益田屋要助　垰田和左エ門
170	1766（明和 3 年）	2　月		鈩に付江戸へ召し出し名代として四ツ土居文兵エ差出す

番　号	西　暦（年号）	月	表　　題（文書名）	内　　容
171	1765（明和 2 年）	2　月	曳谷鈩	川本村より出入申出
172	1777（安永 6 年）	5　月	長尾鈩田畑売渡し	渡村松崎屋より垰田和重郎へ
173	1780（安永 9 年）	9　月	緩木鈩吉ケ谷鈩売渡	垰田屋重右ヱ門より垰田和十郎へ
174	1789（寛政元年）	4　月	長尾鈩山掛り受	矢上光沢勘七より垰田和十郎

(4)　尼川家文書

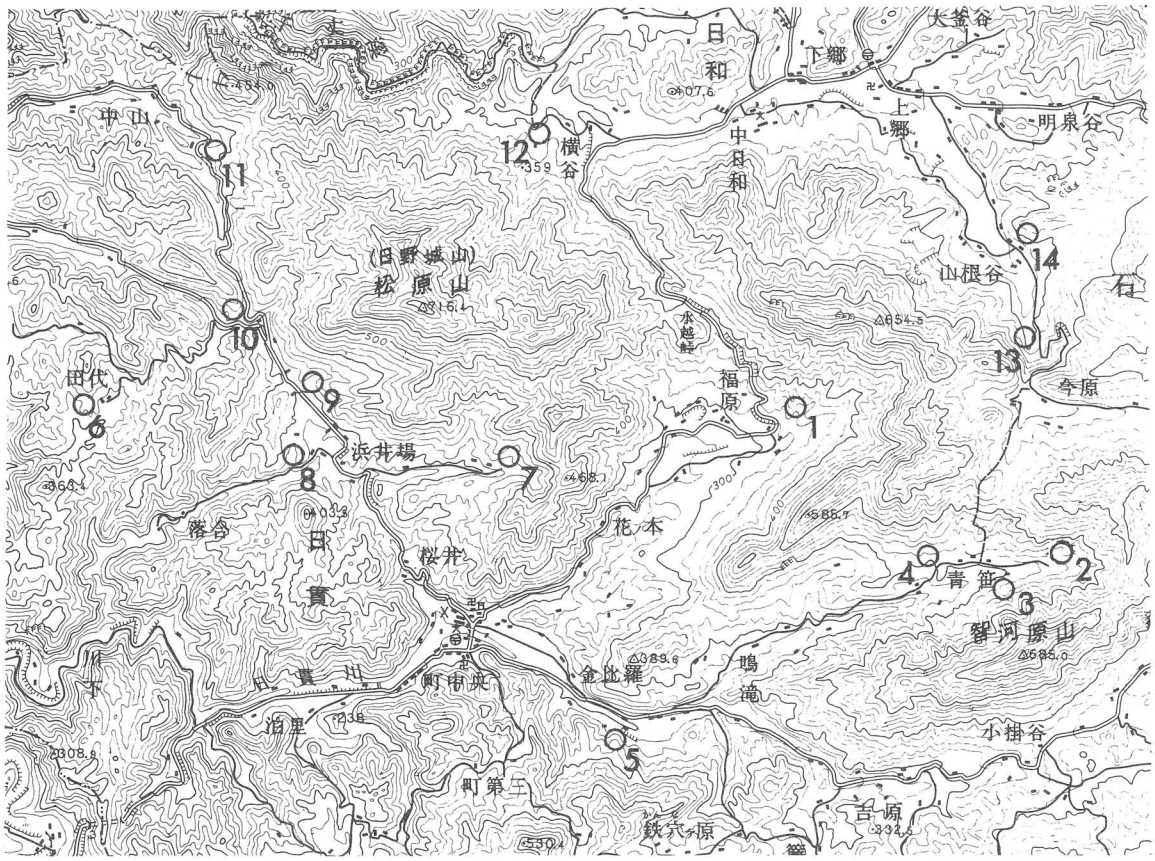
175	1727（享保 12 年）		天秤鞴出入	尼川

福原たたら跡調査報告

1. 調査の経過

福原たたら跡が発見されたのは昭和５８年７月のことである。昭和５８年７月２１日から降り続いた雨は記録的な豪雨となり、７月２３日には石見部を中心に大水害に見舞われた。邑智郡石見町日貫（ひぬい）も被害の大きかったところの一つで、谷川が氾濫し周辺の水田が大きく削り取られるなどの被害が続出した。災害後まもなく香川英博氏（耕作者）が、破壊された水田の断面部に石を組んで作った奇妙な穴が数ケ所あるのを確認された。付近には焼けた土も多量にあり、たたら跡ではないかということになり、石見町教育委員会に届出られた。

町教育委員会は災害復旧の傍ら８月になって現地踏査を実施され、たたら跡であることが確認された。その間の状況等については、昭和５８年８月２１日発行の山陰中央新報に「豪雨ツメ跡から鈩跡」として報じられている。その後１０月７日に杉原清一（島根県文化財保護指導員）、岡田博（石見町文化財保護審議会委員）、酒井武男、松本岩雄（島根県教育庁文化課主事）が現地を訪れ、略測図等を作成した。その際に災害復旧事業として昭和５８年度中に護岸工事を実施する予定であるとの計画を聞き、遺跡の取り扱いについて取り急ぎ協議した。災害復旧工事であるから、遺跡はこれ以上破壊せずに元の川岸まで埋め戻して護岸を設置するとのことであったが、現状での記録はきちんと取っておくべきだとの考えから、事前に調査を実施することとなった。



第１図　周辺の製鉄遺跡分布図　１：50000

１.福原鈩跡（Ｊ41）２.青笹第１鈩跡（Ｊ38）３.青笹第２鈩跡（Ｊ39）４.青葉第３鈩跡（Ｊ40）５.大元谷鈩跡（Ｊ43）
６.久竹鈩跡（Ｊ48）７.高尾瀬鈩跡（Ｊ49）８.落合鈩跡（Ｊ50）９.松原鈩跡（Ｊ51）10.一ツ橋鈩跡（Ｊ52）
11.道平山鈩跡（Ｊ53）12.日の城鈩跡（Ｊ54）13.今原鈩跡（Ｊ57）14.滝の根鈩跡（Ｊ58）

調査は島根県教育委員会を調査主体とし、松本岩雄、吉川正が調査担当者としてこれにあたり、昭和５８年１２月１７日から１９日までの３日間を費やして行なった。折しも１２月１７日から積雪に見舞われたため調査は難渋したが、地元関係者の御協力により予定通り終了することができた。その間石見町教育委員会からは多大な御援助、御協力を得た上、香川英博、香川喜代子、森田初枝、日高八重子、三上貞直、土井久夫氏には終始献身的な御協力をいただいた。また報告書作成にあたり、杉原清一、村上勇氏から貴重な御指導を賜った。記して深甚の謝意を表したい。

2. 位置と環境

福原たたら跡は、島根県邑智郡石見町大字日貫字福原９９４－２に所在する（第１図）。烏子山（標高６５４.５ｍ）に源を発する福原川（日貫川の支流）の右岸段丘上の水田に位置し、標高は３２５ｍある。福原川の両岸には狭隘な谷水田が段々畑状に営まれており、川の流れはかなり急流といえる。たたら跡は西流してきた福原川が大きく南側に湾曲したのち再び北方向へまがるちょうどその湾曲して突出した水田に位置しており、流路の攻撃面にあたるため、このたびの集中豪雨によって崩壊したものと考えられる。このあたりは通称滑谷（なめらだに）と呼ばれる谷にあたり、たたら跡はこの谷の最奥部の水田で確認された（第２図、図版Ｉ－１）。この水田の地名は「鈩元（たたらもと）」と呼ばれており、古くから「たたら」のあった場所と言い伝えられてきたが、その具体的な記録等は地元に残されていないようである。

このたたら跡のごく近辺にはこれまでほとんど遺跡が確認されていないが、やや周辺に目を向けると青笹鈩跡（大字日貫川原鈩所）や高尾瀬鈩跡（大字日貫字高尾瀬）などが知られている。邑智郡南部一帯は特に近世のたたら製鉄がたいへん盛んなところとして知られているところでもあり、今後綿密な調査を実施すればさらに相当数の製鉄遺跡が確認されるものと予想される。

第２図　福原たたら跡周辺地形図

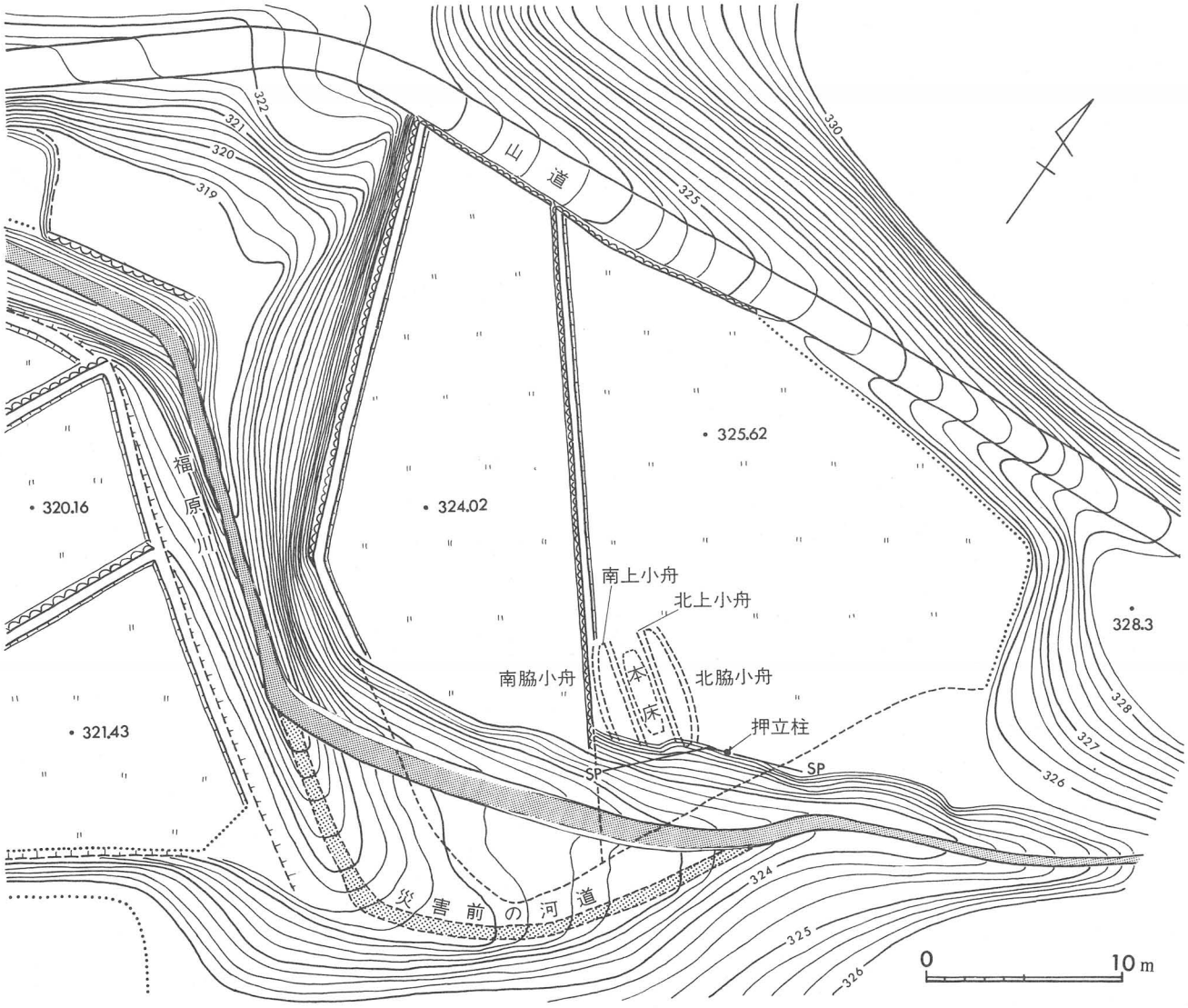
3. 遺構の概要

このたびの調査は、護岸工事によって新たに遺構が破壊される部分がないこと、災害復旧のため早急に対応すべきことなどの事由により、調査範囲を最少限にとどめ、現状での記録作成を主目的として行なった。調査内容としては、地形測量、現状の断面清掃・図化、小舟下部の部分的な発掘を実施したにすぎない。したがって、最底限確認しておくべきポイントもほとんど調査していないのが実情で、不備な点が多いと思うが御寛容願いたい。

水害によって破壊された部分は高殿たたら跡炉床地下構造のうち南東側跡坪にあたるところで、炉床地下構造の北西側は大半が遺存している（第３図）。したがって、現状では小舟の焚口部が６穴みられるのみで、本床内の土層等については観察することができない。小舟の長軸方向は概ねＭＮ－５５°―Ｗを示すが、説明していく上で便宜上小舟の長軸方向をほぼ東西とみたてて、それぞれ東跡坪、西跡坪、北小舟、南小舟等の名称を付して記述していくことにしたい。

(1) 炉床地下構造掘り形とその周辺部遺構（第４図、図版Ｉ－３）

炉床地下構造の掘り形は、北側（山側）では検出したが、南側（谷側）は水田の石垣構築によってすでに破壊されていたため、確認することができなかった。掘り形は地山と考えられる明褐色～暗褐色の礫まじり層に掘り込まれており、掘り込み面から深さ７０㎝くらいまでは約７５度の急角度で掘り込まれ、その下は約５０度とややゆるやかに掘り込まれている。湧水等により掘り形最下部までは明確に検出できなかったが、掘り込み面下約1.3ｍまでは確認しており、そこに伏樋がめぐってい



第３図　福原たたら跡遺構平面図

たことから、ほぼこのあたりが掘り形最下部と推察される。掘り形の規模については不明であるが、小舟配置の中心部から北側掘り形上端まで2.1 mあり、南側の小舟残存部までは約2.5 mあることから、少なくとも南北方向の掘り形は4.6 m以上あったものと考えられる。

掘り形周辺部の遺構としては、押立柱と思われる落ち込みを1個検出することができた。この落ち込みは炉床地下構造掘り形上端から北側約1.1 mのところに位置し、その規模は上縁形４０㎝、底径３０㎝、深さ９５㎝を測る。掘り込みの角度は垂直ではなく、わずかに北側へ傾いている。押立柱としては深さがやや浅いので疑問な点もあるが、ここでは一応押立柱と推定しておくことにする。このあたりの土層は上部から水田耕作土（約１８㎝）、水田客土（１０㎝）、２〜５㎝大の小礫を含む黒褐色土（約３０㎝）、黄白色真砂土（約６㎝）、多量の炭を含む黒色土（約６㎝）となっており、柱穴は黒色土を切り込んだ状況を示していた。土層の状況からすると黄白色真砂土あるいは黒色土のあたりが操業時庭面とみられる。

押立柱と考えられる遺構は１つしか確認していないが、小舟配置の中心部から押立柱中心部までの距離は3.4 mあるので、左右対象形とすれば南北方向の押立柱心心距離は6.8 mあまりあったことになる。

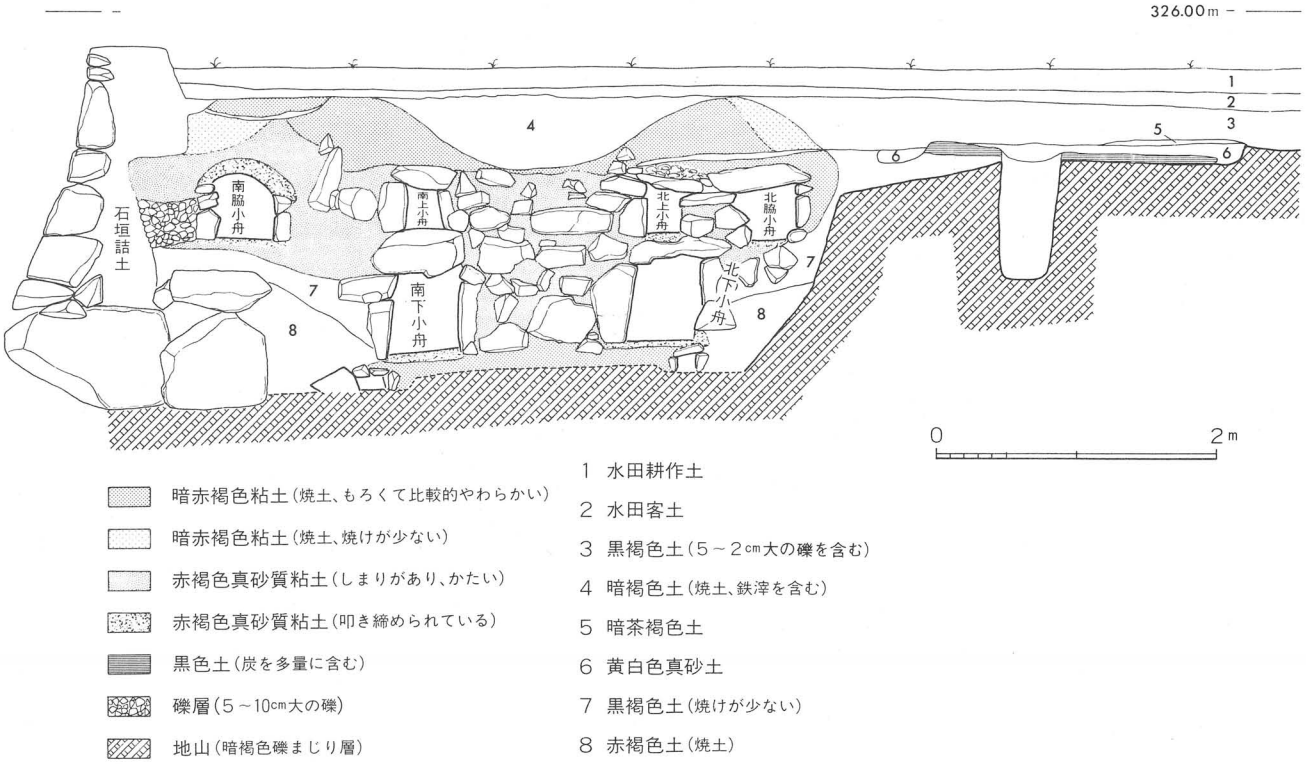
⑵　本床（第５図、図版Ⅱ－２）

水害によって破壊された断面には本床の閉塞部が露出しているのみで、内部の土層は観察することができない。閉塞部の平面形はわずかな弧状をもっており、真砂質粘土を置いては石を置いて積み上げていく手法をとっている。

⑶　小舟構造（第４図、図版Ⅱ－１）

本床の両脇に上下２個づつ、さらにその外側に１個づつの都合６個の小舟がある。いま仮りに本床の北側にあるものを北上小舟、北下小舟、北脇小舟、南側にあるものを南上小舟、南下小舟、南脇小舟と呼ぶこととして以下の記述を進めていくことにする。[註1]

まずそれぞれの小舟焚口部中心間の距離をみると次の如くである。北上小舟と南上小舟は約１７０㎝あり、北下小舟と南下小舟もそれとほぼ同距離である。また南・北上小舟と南・北下小舟の上下間の距離は約７０㎝ある。北脇小舟と南脇小舟の距離は、南脇小舟焚口部が崩壊しているため不明であるが、左右対称形として復原すれば約３２０㎝となる。以下、個々に小舟



第４図　東跡坪露出面実測図

構造の説明を加えていくことにする。

北上小舟　焚口部は両側壁ともに２個の石を積み上げ、天井は１枚の板状石を架けている。規模は基底部幅２５㎝、天井部幅２５㎝、高さ３０㎝を測る。内部は両壁ともに２～３段の石積み粘土目貼り仕上げで、この上に真砂質粘土の甲天井が構架されている。甲天井内面には小切木の痕跡があり、焼き抜きの構築法をとったものと考えられる。以下に記述する小舟の甲天井内面はいずれも同様な痕跡がみられる。小舟の平面形はほぼ直線に構築されており、焚口部からの長さは少なくとも4.７４ｍまでは確認できる。なお、焚口部の天井石の上には厚さ１０㎝あまりの鉄滓の層がみられる。

北下小舟　北上小舟のほぼ真下にあり、北上小舟の基底部の石が北下小舟の天井石と兼用になっている。焚口部の両壁はともに比較的大きな石を立て、基底部は赤褐色真砂質粘土を叩き締めている。焚口部の規模は、基底部幅６０㎝、天井部幅4.5㎝、高さ６０㎝を測る。内部は両壁ともに石積み粘土目貼り仕上げで、真砂質粘土の甲天井となっている。平面形はほぼ直線につくられており、焚口部から3.２９ｍのところで天井が落盤している。

北脇小舟　北上小舟の北側に接して設けられたもので、基底部の高さは北上小舟よりわずかに５㎝ほど低い。基底部は赤褐色真砂質粘土を叩き締めてつくり、焚口部の両壁は２～３段の石積みとし、天井部は板状の石を架けている。基底部幅、天井部幅ともに約４０㎝で、高さは３５㎝ある。内部は両壁ともに石積み粘土目貼り仕上げで、天井部は焚口部から1.１ｍ奥まで３枚の石を並べて置き、その奥は真砂質粘土の甲天井となっている。この小舟はこれまでみてきた北上小舟、北下小舟とは異り、平面形が弓なりにカーブしていることが注意される。長さは少なくとも焚口部から5.８５ｍまでは確認することができる。

南上小舟　焚口部両壁はそれぞれ１枚の石を立て、基底部、天井部ともに板状の石を用いている。焚口部の規模は基底部幅２５㎝、天井部幅２０㎝、高さ３０㎝を測る。内部は両壁ともに石積み粘土貼り仕上げで、天井部は焚口部の板石から８０㎝は粘土の甲天井としたのち、１枚の板石を設け、その奥は再び真砂質粘土による甲天井となっている。平面形はほぼ直線に構築されており、焚口部からの長さは4.８５ｍまで確認できた。

南下小舟　南上小舟のほぼ真下に位置し、南上小舟の基底部の石が南下小舟の天井石と兼用になっている。焚口部の両壁は２～３段の石積みとし、基底部は赤褐色真砂質粘土を叩き締めている。焚口部の規模は基底部幅、天井部幅ともに５０㎝、高さ５５㎝を測る。内部は両壁ともに石積み粘土目貼り仕上げで、真砂質粘土の甲天井となっている。平面形はほぼ直線につくられており、数メートル奥は土が詰まっている。

南脇小舟　南上小舟の南側に沿って設けられたもので、基底部の高さは南上小舟よりわずかに５㎝ほど低い。焚口部は洪水によって破壊されており、小舟内部の断面が露出している。北脇小舟の状況からすると、南脇小舟は焚口部より1.１ｍあまりのところから西側が遺存しているものと思われ、元々の焚口部は南上小舟の焚口部に接していたものと考えられる。基底部は赤褐色真砂質粘土を叩き締め、両壁は２～３段の石積み粘土貼り仕上げとし、天井部は真砂質粘土による甲天井となっている。現状での開口部の規模は、基底部幅、天井部幅ともに約４０㎝、高さ約４５㎝あり、甲天井の厚さは１５㎝あまりある。平面形は北脇小舟と同様に弓なりに湾曲しており、開口部から5.０４ｍまでは確認することができた。

(4)　伏樋（第５図、図版Ⅱ－２・３）

小舟の下部を掘り進めると、北下小舟の下部から湾曲して南下小舟の下部に至る小溝が確認された。さらにこの施設は南下小舟の下部を通って西方へ続くものとみられることから南・北下小舟の下部を囲繞しているものと推測される。この小溝はいわゆる「伏樋」と称されるものと考えられ、長さ２０㎝、厚さ６㎝あまりの板状の石を両側に立て、その上に蓋石を置いて築いたもので、溝内の大きさは幅１５㎝、高さ１０㎝あまりを測る。この溝に沿って炭・焼土を含む黒褐色土がみとめられた。

(5)　跡坪（第５図、図版Ⅱ－２）

小舟の焚口前庭である跡坪は、洪水によって破壊されているためその構造については不明である。ただし、伏樋の外側に沿って落ち込み（炭・焼土を含む黒褐色土）がめぐっており、これが掘り形の下端とみられることから跡坪底面は本床閉塞部から約６０㎝のところであったと推測される。なお、跡坪底面と考えられる伏樋の東側で、４０×３０㎝の範囲に鉄滓・銹鉄塊炉壁片が埋めてあるのを確認した。

4. 遺　物（図版Ⅲ）

このたびの調査によって得られた遺物は、鉄滓、炉壁片、銹鉄塊、磁器片である。これらの遺物については現在のところ科学的な分析等を行なっていないが、以下表面の観察結果を簡単に記すことにする。

⑴　鉄滓

北上小舟天井部の上から採取した１点を除いてその他は全て跡坪から出土したものである。これらはいずれも炉床地下構造内に埋没されていたものであるから、この炉でつくられたものではなく、それ以前に操業された際に生じたものと考えられる。２〜３㎝大のものから拳大のものまで総数１００点あまりあり、色調、光沢の度合い、重さ、気泡の特徴などから大きく４つに分けることが可能である。

①　青味を帯びた褐色を呈し、流動性にやや欠け、気泡孔が比較的小さく、最も軽く感ずるものである。量は少なく３点しかない。操業の初期の段階に排泄されるものではないかと考えられている[註2]（図版Ⅲ－２－Ａ）。

②　青紫褐色を呈し、流動性にやや欠け、断面の光沢がない。気泡孔は大小多数あり、重さは軽いが①よりわずかに重く感ずるものである。量的に最も多く約９割を占める（図版Ⅲ－１）。

③　青黒色で流動性があり、飴状を呈するものである。大きな気泡孔が時たまみられるが全体に密で、断面に光沢があり、最も重量感がある。石英・長石質の砂粒を含んでいる。量は比較的少ないが１割近く出土している（図版Ⅲ－２－Ｂ）。

④　色調、流動性等の特徴は③に近いが、重さが②と③の中間のものである。量的には少なく４点しかない（図版Ⅲ－２－Ｃ）。

これらの鉄滓は分析等の結果は出ていないが表面の特徴からするといずれも製練滓と思われる。

⑵　炉壁片

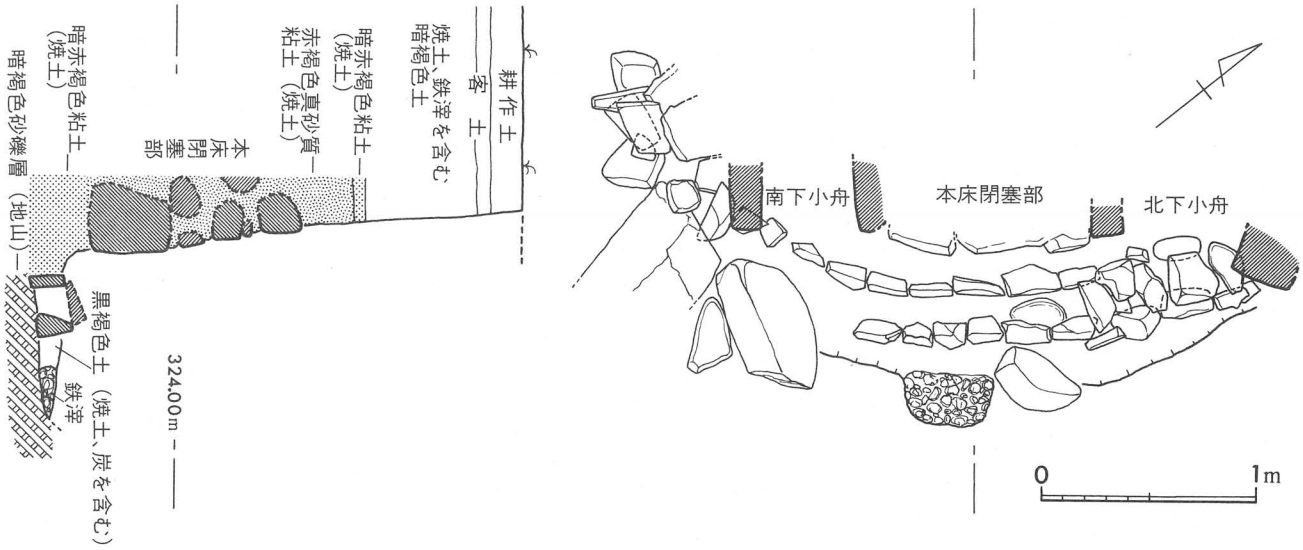
北上小舟天井部から採取したものと跡坪から出土したものの３点がある。いずれも片面は青黒色の溶融した珪質滓がみられ、他面は粘土に真砂土を配合したいわゆる元釜土と呼ばれる調合土が付着している（図版Ⅲ－３－Ｂ）。

⑶　銹鉄塊

赤銹が吹き出した塊で、流動性が若干あり、磁石の反応がある。炉内からこぼれたものか、未還元の鉄滓の可能性も考えられる。量は少なく２点しかない（図版Ⅲ－３－Ａ）。

⑷　磁器

現在の水田客土の下にある黒褐色土層中から磁器片が１点出土している。碗の口縁部片と思われるもので、外面には染付の網代様の文様が描かれている。この磁器はいわゆる肥前磁器の範ちゅうに入るものと思われ、江戸時代中期以降に出現する様



第５図　東跡坪および伏樋実測図

式のものと考えられる（図版Ⅲ－３－Ｃ）。

5. 小　結

福原たたら跡の調査は、災害によって露出した部分の記録作成と、小舟下部の部分的な発掘を実施したにすぎないため、きわめて不備な点が多い。したがって、高殿の規模、形態、内部の配置状況等はもとより、山内全体の規模、配置状況についても全く把握しておらず、それらの解明は今後に残された大きな課題といえる。

このたびの調査では、炉床地下構造についてはおおかたの様子を把握することができたので、その構造等を中心に若干の私見を述べて結びにかえたい。

福原たたら跡は、複雑、入念な炉床地下構造を有するもので、構造からみれば本格的な近世たたらとされているものに属する。操業年代については、福原たたら跡に関する文献記録等が現在のところ知られていないうえ、熱残留磁気の測定等も実施していないので不明である。ただし、操業時庭面とみられる層の上面にあたる黒褐色土層中から出土した磁器片の年代観から推測すれば、おおまかに江戸時代中期以降に操業されたものと思われる。なお炉床地下構造内に鉄滓や炉壁片が挿入されていたことからすれば、ごく近辺でこの福原たたら跡操業以前にたたら製鉄が行なわれていたものと考えられる。

高殿の立地は、谷頭の小河川が蛇行した屈曲部に位置しており、県内では佐田町朝日たたら跡[註3]、吉田村杉谷たたら跡[註4]、吉田村志谷たたら跡[註5]などの立地条件に類似している。これは『鉄山必要記事』の説く「たたら」の立地条件に概ね合致しているものと思われ、近世たたらの典型的な立地といえよう。

次に、炉床地下構造の構築法について復元すればおおよそ次の如くであろう。まず、南北4.6 m以上、深さ1.3 mあまりの掘り形を掘削し、掘り形底面周囲に石組みの伏樋をめぐらし、その上に下小舟を構築する。表面的な観察であるため不明な点が多いが、第４図から推測するとこの下小舟の上面が１つのベースになるようで、この段階までがいわゆる「床釣り」で、その上部が「本床釣り」とも考えられる。とすれば、本床の底面は下小舟の天井部より上の高さになることになり、佐田町朝日たたら跡との類似性が考えられる。「本床釣り」は本床を挟んで両側に北上小舟と南上小舟を築き、さらにその両脇にそれぞれ北脇小舟、南脇小舟を配している。このような小舟配置の例は県下では初見のものであるが、脇小舟を有するものとしては、鳥取県日野郡溝口町の藤屋たたら跡[註6]の１例が知られている。また、掘り形底部にめぐらされた伏樋は、両側面と蓋に板状の石を用いており、こうした構築法も県下初見のものといえよう。これまでに検出されている伏樋は地山をU字形に掘りくぼめてその上に板石を架けるものが多いようであるが、福原たたら跡の場合地山が礫層であったためにあえて３面に板状石を用いたのかもしれない。なお、福原たたら跡には上小舟、脇小舟、下小舟がそれぞれ２個づつの都合６個にのぼる多数の小舟を構築しているが、「床釣り」「本床釣り」の部分に多くの小舟あるいは小舟状の空洞を有するものとして、佐田町朝日たたら跡や三隅町中山たたら跡[註7]などが知られており、それらとの関連性も無視できない。

以上、限られた条件下の応急的な調査であったため不十分な点が多いと思われるが、石見地方の数少ない高殿たたら跡の調査例として貴重な資料を得ることができたといえよう。なお、出土品については島根県教育委員会で保管しており、今後鉄滓の分析等の機会があれば、後日さらに科学的検討を加えることにしたい。　　（吉川　正、松本岩雄）

註１　炉床地下構造の各部名称は、大まかなものは存在するが細かな部分名称となるとその構造が複雑でかつ千差万別のため確たるものがないようである。俵国一著『明治時代に於ける古来の砂鉄製錬法』では、本床の両脇にあるものを下小舟、本床の上面すなわち土居と称される場所に一時的に炉底を乾燥させるために用いられる小舟状の施設を上小舟及び袖小舟と称しているが、本報告では相対的な位置関係から便宜的にこのように呼ぶこととした。

２　杉原清一氏の御教示による。

３　杉原清一、田中迪亮、大谷昌武『朝日鈩跡発掘調査報告書』島根県佐田町教育委員会（昭和５８年３月）

４　杉原清一「吉田・杉谷たたら跡」『島根県埋蔵文化財調査報告書』第Ⅷ集　島根県教育委員会（昭和５６年３月）

５　杉原清一「志谷たたら跡」『月刊文化財』第１９４号　第一法規（昭和５４年１１月）

6　柳瀬昭彦「近世たたら調査の現状と課題――岡山県奥土用・神庭谷製鉄遺跡調査を中心として――」『考古学雑誌』第６９巻第２号　日本考古学会（昭和５８年１２月）

7　桑原韶一『中山たたら遺跡緊急発掘調査報告』島根県三隅町教育委員会（昭和５８年３月）

1. 遺跡遠景（南西から）

2. 調査風景（南東から）

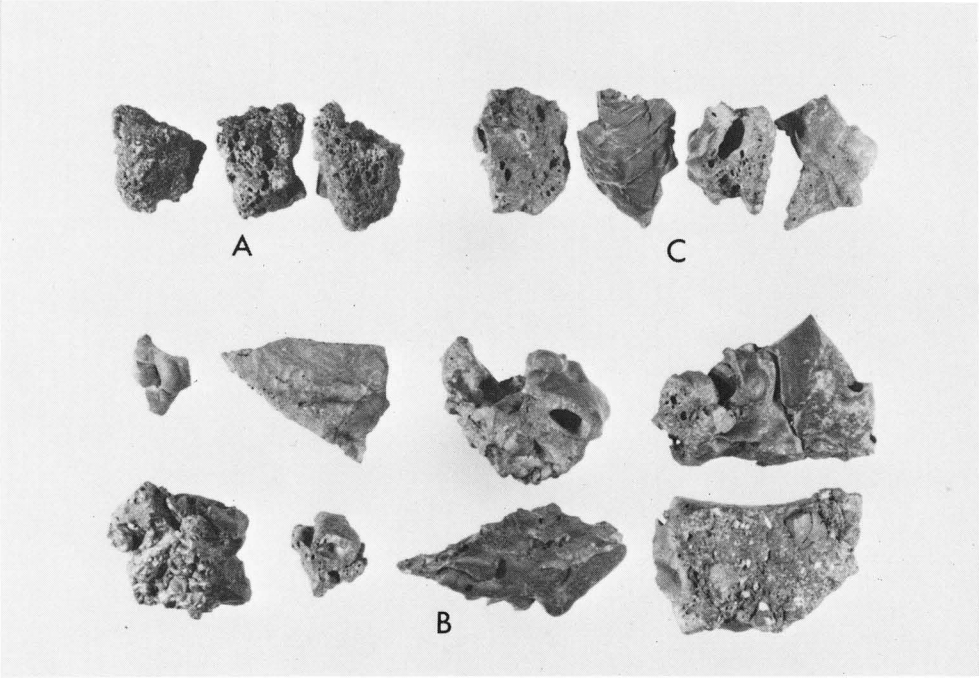
3. 炉床地下構造の断面

1. 小舟構造

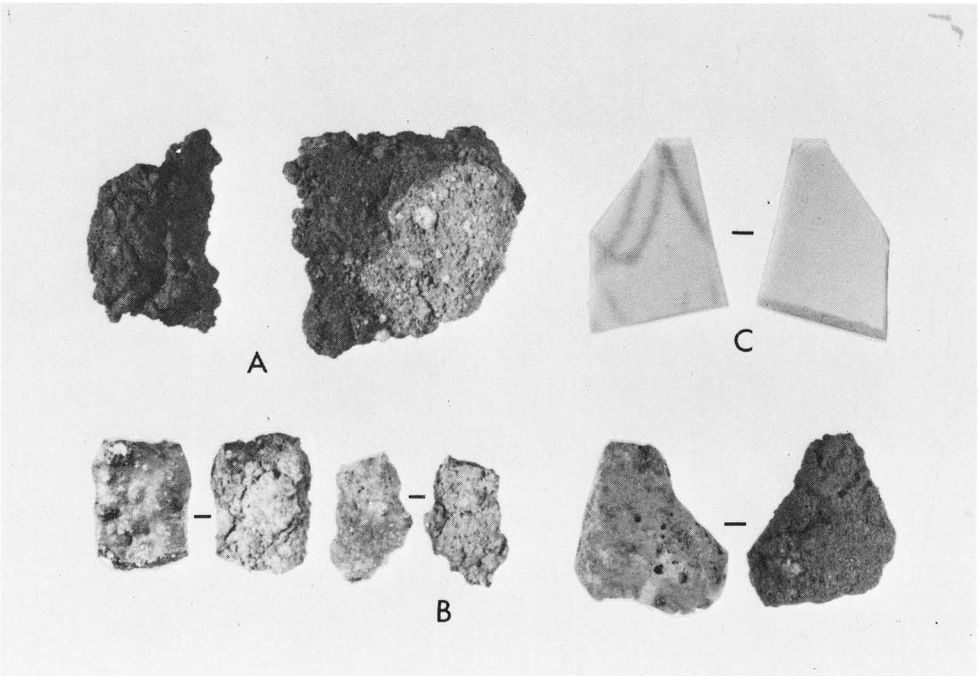
2. 東跡坪と伏樋

3. 伏 樋

1. 鉄 滓



2. 鉄 滓



3. 銹鉄塊、炉壁片、磁器片

島根県生産遺跡分布調査報告書Ⅱ
石見部製鉄遺跡

昭和５９年３月３０日発行

発行　島根県教育委員会
松江市殿町１番地

印刷　株式会社　報光社
平田市平田町９９３